

Copyright 日本建築学会

清国
陝西・四川

第三卷

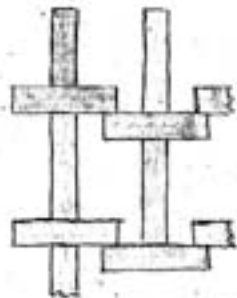
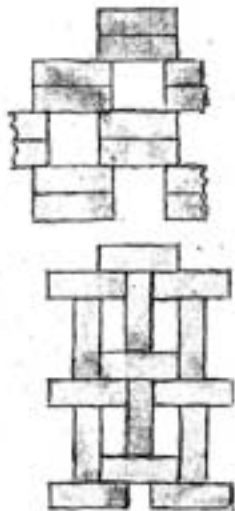
高	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天
高	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天
高	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天	天

○ 目次

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十	二十一	二十二	二十三
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

城大分同田九里余
戸數凡二千人口四五千ナレバシ
東門外泰五人之墓アリ
道土道ノ北辺ニ多ク古墳アリ

③興平縣(漢ノ槐里茂陵之地)



概テ以テ色々ニ積ミ
横樑ヲ造レリ、日本
普通ノ煉瓦ニテモ爲
シ得バシ

①咸陽縣
漢ノ渭城也、始皇手都ニ咸陽ハ今ノ縣治ノ東二三
十里、即チ豐水ニ橋鎮ノ邊ナルベシ
城ハ渭水ノ北岸ニ在リ、周田九里許リ、戸數五六百、
人口二千八百ナレバシ

○附圖目次

自岐山至洪星舖
自心紅舖至寶光
漢中附近四
自寶光至劉剛
自劉剛至解州
自解州至茂郡
自茂郡至嘉定
崧石山之園
全
自茂郡至茂郡
自茂郡至合江
自江津至重慶

頁
一九
二二五
三十五
五十二
六十九
百〇三
百〇五
百〇八
百一十

三五 敷州府
三五 南漢州
三五 江蘇州
三五 納溪州
三五 合江州
四〇 江津州
四〇 重慶府

百〇七
百〇七
百〇七
百〇七
百〇七
百〇七
百〇七
百〇七

青楊貴妃墓 在馬嶺道西三里



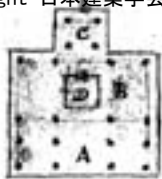
後人有詩詠之云
 身委馬嶺嶽上泥六軍子竟
 迫宮妃年々夢雨聞鈴夜為
 聞三郎知未知

○保寧寺

全寺万壽宮トナリ居レリ
 天禧二年六月十八日ノ碑アリ
 「保寧寺浴室院新修鐘樓記」
 ト題セリ龍佳ナク模様ナレ
 境内八角七層塔アリ見ルニ足ラズ北塔ト称ス
 又南塔アリ四角七層、屋根は「インレン」キレヨシア
 ル曲線形ナリ形式粗承見ルニ足ラズ
 コノ辺ノ屋根ノ鬼瓦ハ一種頗ル異様ノモノトナリ
 其輪廓遠ク望メバ鷄ノ如シ、コノ風ハ河内省ヨリ
 始マリ居レリ。



屋頂角ノ鬘頭不是龍



周 滿 民 下 民 上 殿
 年 齋 脂 民 寤 天 數

大門ノ次ニ儀門アリホタ三間
 二面アリ切妻儀門ノ次ニ牌
 樓アリ相間ニ横ニ長キ扁額ヲ
 カケ左ノ如ク書ケルモノ多シ

— 4 —

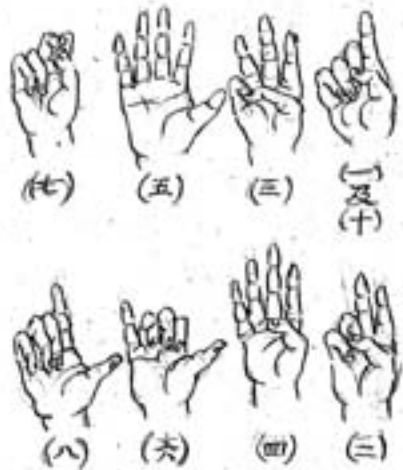
コノ牌樓ヲ入レバ二ノ音ナル建築ア
 リ形左ノ如クA B Cノ三部ヨリ成ル
 ハハ屋根裏ニ棟ニテ前柱トナリBハ
 母屋ニテ中央ニDナル御帳基ヲ如クモク
 知馬及大官ハAナル正面ノ右間
 キテ出入スレバ他ノ其横手ヨリ入ル
 Cハ後拜ニテ別棟トナリBノ右ニ

△府縣衙門ノ建築

一般ニ衙門ノ前ニハ影壁アリ内外ニ面ニハ龍ノ如
 キ怪物ノ球ヲ探ラントスル標ヲ画ケリコノ壁ノ
 内ニ大門アリ内前ニ對シ獅子アリ内ノ左右ニ前
 ニ斜ニ出タル壁アリ八字壁ナリコノ表面ヨリ
 吳歎草木雲ノ画アリ天平横標ノ座ニ
 落エタルカ如キ有標ナリ
 大門ハ三間ニ面エテ切妻ナリ



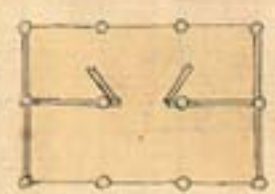
賽拳吃酒



支那ノ指ニテ數量ヲ表ハス形

三 武功縣(古邯鄲)即后稷所封處
 城周田六里許リ人家五百許ト見ユ
 城ノ北門外ニ報本寺アリ高祖別宅ト云エオ
 一ニ後聖門アリ金剛杵ヲ持テ四箇ノカサノ像ヲ
 安置ス次ニ殿アリ次ニ八角七層塔アリ大サ
 モ形式ニ興平縣ノモノニ似タリ別ニ見ルニ足ル
 モノナシ次ニ天王殿アリ四天手形引的ノモノト
 異ナルカ如ク破壞シテ分明ナラズ次ニ仙殿アリ
 尺余ノ臥仙アリ觀音ノ形式見ルニ足ラズ
 コノ伽藍ノ特所ハ建築排列ノ奇ナキニテ久時
 塔ノ位置ニ例ヲ見ザル可ナリ

茶基



アリ、有格ノ人ノヒコノ正面ノ戸ヨリ出入ス。
 コノ建儀ホノ次ニ中庭ヲ配テ、正廳アリ、正面ニ杭ア
 リ、杭上ニハ必ス刑名ヲ記シタル木片ヲ大ナル筒ノ中
 ニ入レテルヲ備ヘ全馬製ノ筆架ノ如キモノヲ置
 ク蓋シ知縣自ヲ判官トシテ刑ヲ宜告スル所ナリ
 正廳ノ前庭ノ左右ニ房アリ、秘書ノ官ノ如キモノ
 居ル所ナリ、又儀門以内左右ニ房アリ、小吏コノ
 中ニ事務ヲ取リ、正廳ノ後庭ハ機ニ對面ナ
 リ、知縣客ヲ引テ正式ノ
 面會ヲナス所ナリ。

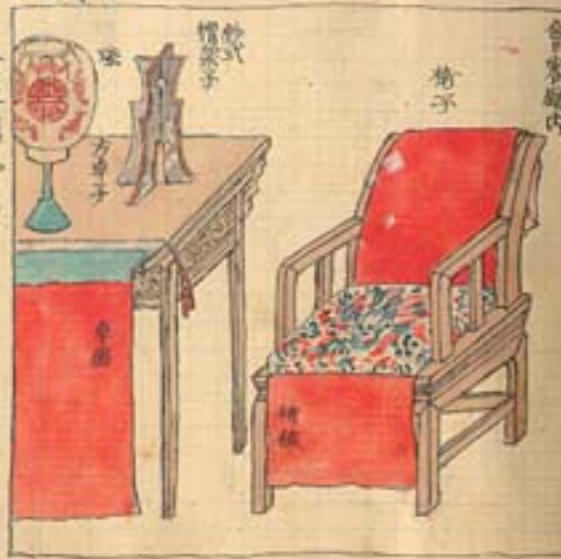
大門及儀門ノ図

大門ノ何々府又ハ何々縣ナル
 額ヲ掲ケ儀門ニ儀門ノ額
 ナリ、
 大門前ニ更ニノ牌樓アリテ
 コレテ府縣ノ名ヲ額スルモノ
 ナリ



○衙門廳ノ家具

會客廳内



會客廳ノプラン



桌
 椅子
 坐墊
 燈
 敷物



衙門ノプラン

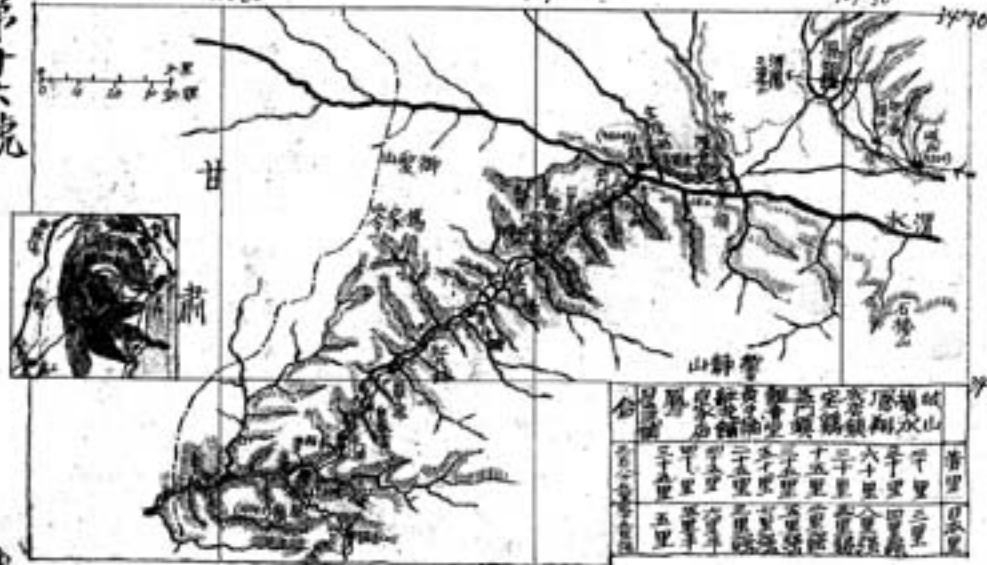
116°30'

107°0'

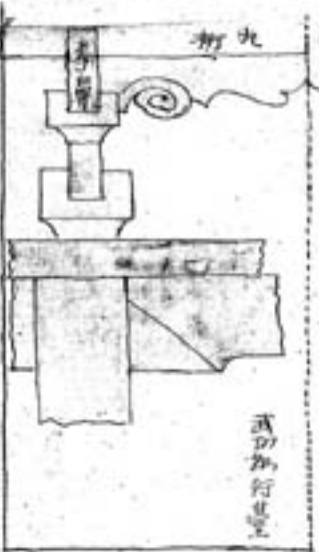
107°30'

34°30'

第十六號



武陽以西二階屋多シ
 コノ四又深赤光キヲ外部ニ出シコレニ繪様ヲ
 刻シ其左右ニ翼ノ如ク織細ナル透シ彫ノ繪
 様彫刻ヲ施スコト行ハル性々甚ク美入ナルモノ
 アリ



武陽知府墓

△古蹟
 蘇武墓 在縣北
 隋煬帝墓 在縣西原 武德五年八月辛亥唐高祖
 葬帝于此
 武陽以西二階屋多シ
 唐故司空文鼎公蘇府君之碑上題
 唐之遺物ヲ長龍形モ甚ク美ナリ 年代不詳

④扶風縣
城大サ周囲四里許
人家三百許
觀ル可キモノ無シ

⑤岐山縣(周文王郷里、西伯舊治)
城大サ回五里
人家凡ソ一千

△大平寺

創立不詳、境内大平塔アリ、八角九重、形式
極メテ粗末ナレド、武功、興平ノ塔。比スレバ數
歩優レリ、其西シコノ裡ニ塔ノ中ニ就テ佳ナルモノ
タルヲ失ハス
二重腰段勾欄、三重連座勾欄、四重及五重、
勾欄六重以上勾欄ナレド、二間三間ニ六、中央入口左
右横連子軒已テニ夕軒地光ハ元ノ角、九重屋
根破壊、九輪アリ、全高約百三十五尺

○周公廟(城北十五里鳳凰山麓)

碑ノ古キモノハ
大中二年、潤德泉記、碑陰元祐八年
至正廿五年三月七日、岐山周廟潤德泉碑
大德三年三月十五日、重修周公廟記
其他明清ノモノ多クシ
廟ハ三字あり
中央 周公廟
西方 召公廟

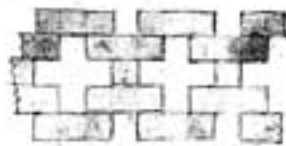
東方 太公廟
建築ノ形式別、見ルニ足ラズ、泉アリ、潤德泉と云
フ今涸レテ一滴水ナシ。

⑥鳳翔縣

城大サ回十一里余
人口一萬二三千、人家三千ト云
建築物見ルニ定マラズ

⑦宝鸡縣(陳倉驛)

城大サ回四里
人口凡ソ五百(人家三百ト)
城東三十里、底店鎮ハ即チ古ノ陳倉也、
城東五十里、魏川ハ孔明馬糧ヲ斬ル所ト稱ス
二種ノ軌ニテ損様ヲ積み出スモノあり、



杵水



源氏物語
余六歳に遺傳の志始に呼ばれり



水車
建
水車十九車輪

水碾
碾
柱子

草鞋



草鞋



三麻鞋



四 旅装セル驟馬ノ頭



○ 檜道考
考古杖道之別其有四其自成和階文出者居皆中陰平
道即杖道蜀田之其杖道出者居皆中陰平
杖道中之其自成和階文出者居皆中陰平
由之杖道出者居皆中陰平
府志載杖道由宅觀進至前宮城者連云杖道即此也
由乃野進歷前元慶元唯化劍門居南復當河灘獨大毛堂
述者短以新流以階以巨健唯無可施力者覺孔摸屏木
覆以板細以釘油深不純獨而若小架長標覆巨板羊
蹄一版而厚立十但及侯歐進若進而踏也標名檜木棚作
棚馬標此標進之野田名也

⑧ 鳳縣(古の鳳州)

城ノ大ナリ周四里
戸數三百以内
建築物に見入るべきものあり

留候廟(廟臺子)柴閣嶺東

張良寺松子、從テ世を遊ケシ處と稱す。
現今ノ建築其ノ最近ノスタイルは之ニ色彩艶妖手法甚々
濃雜ナレバ亦々新意ニ匠ノ見ルベキモノトモアリ。
尾瓦並ノ端ノ非ノ中ニ反リたるハ奇なるハ此ノ場ノ合口には
瓦桁の上ニ更ニ垂木受けを載セ、端木ハ屋椽

ノ裏より出ツるミアラズして
圓の如く外部は閉けらるる
由のあり。



檜木

瓦桁

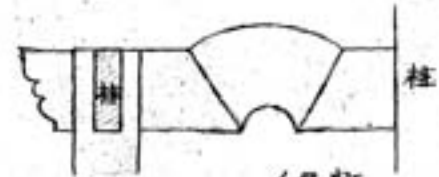


魚ノ形欄干ノ邊ニテモノ



⑨ 留壩廳
城周回三里
人家城ノ内外ヲ合セテ凡三箇
ノ
ノ

⑩ 獲城縣
城、周回九里有命
人口凡三萬
懸臭ノ例、ノ形元ニ重ノ術、懸ニ為也



紅染ノ形上ノ如クニナリ中央ニ
扇狀ノモノヲ見ルニ至レドモ
ノ



第十七號



雁子包(武申南)



豚連の面白



漢中の西北二十五里

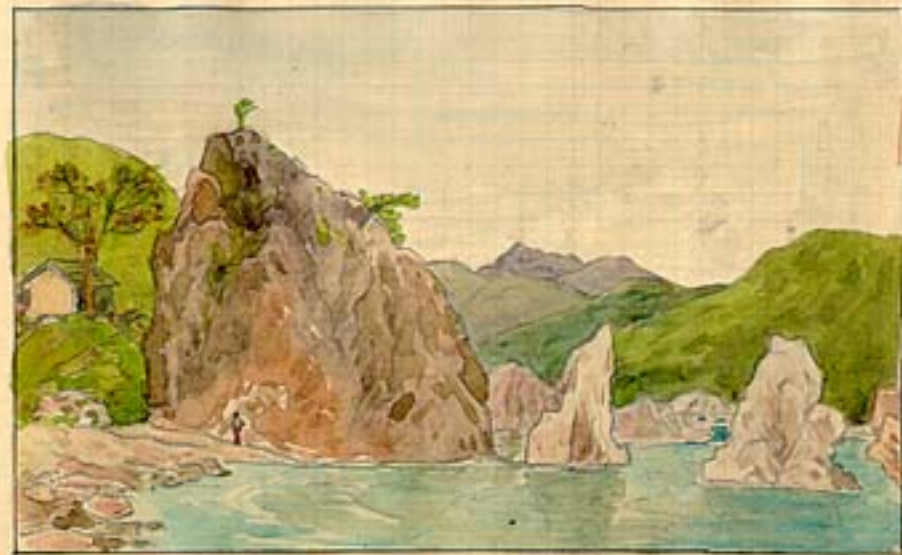
宗堂と鎮

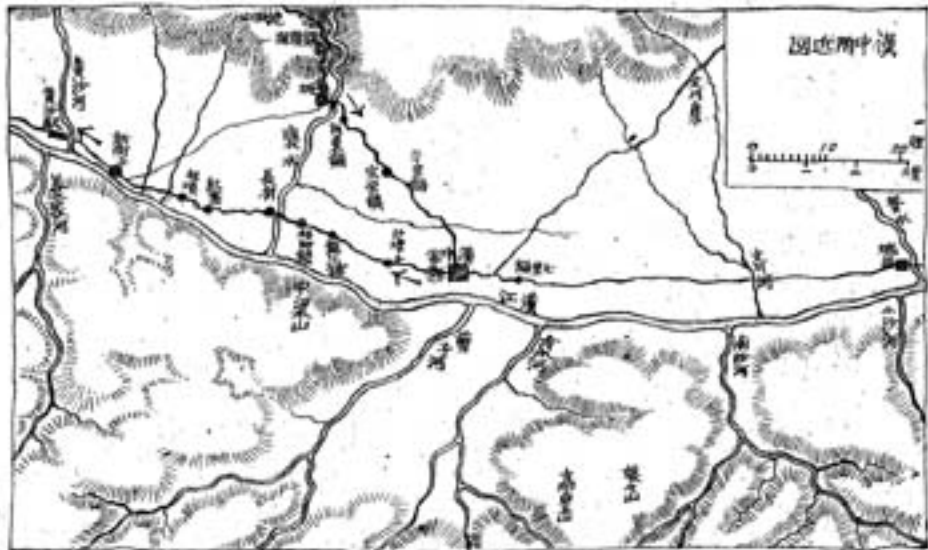
斯の如き積類を
甚多し、そに揚り
たるは就中意匠の
優レルモノナリ

鶴頭山(褒城、北七里)



梅蓮岩(褒城、北七里)



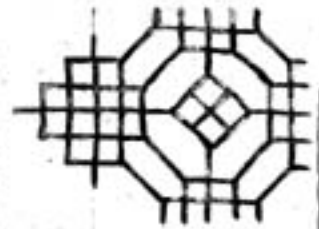


⑪ 漢中府 (南鄭縣)

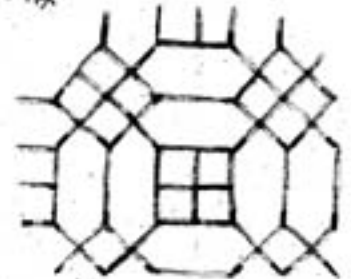
城固凡人口凡三萬
コノ辺ノ建築ニ特有ナルハ左ノ如クインレキレヨシアン

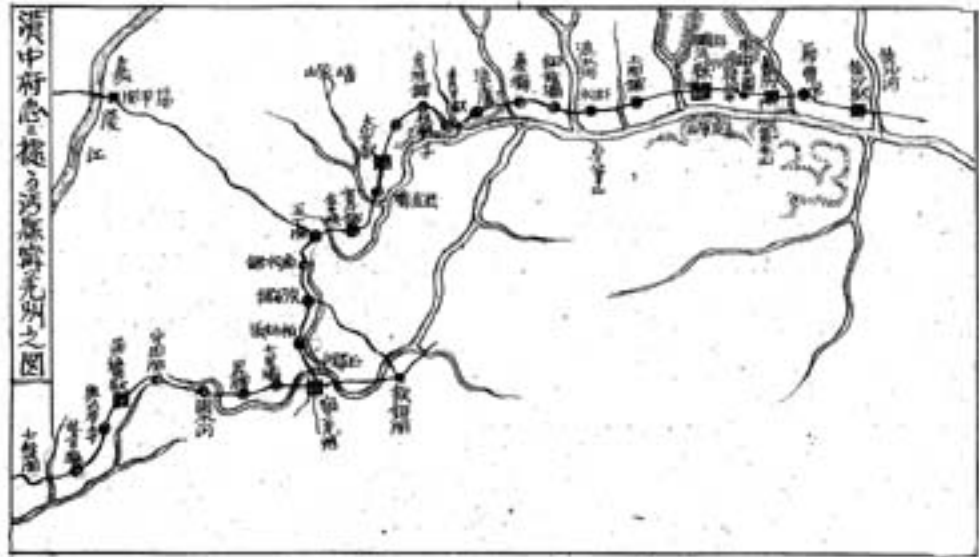


懸輿ニ真正ノ魚ノ形ヲ用テタルモノ及ヒコレヨリ轉
化シタル形ヲ追蹤スヘキ形ノモノ多シ



窓ノ形ニ幾何學的模
様ノ種々複雑コレテ
己カモ又ニキモノ多シ





斯ノ如ク二尾者久ニ尾ノ寫生的ニ近キ奥ノ形
ヲ用ユルイ此ノ地方ニ甚ク有ク行ハルハ一奇
ト認メヘシ。

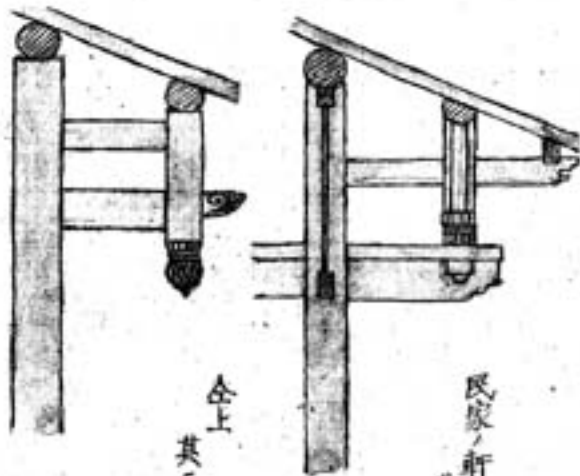


(四川会館館蔵其堂)

「愚魚」一説曰、吉慶有餘、魚、良、實、立、可、通、



(中京)



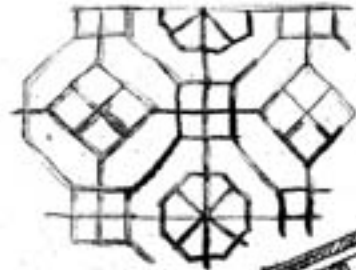
全上
其二

民家ノ軒ノ出
其一

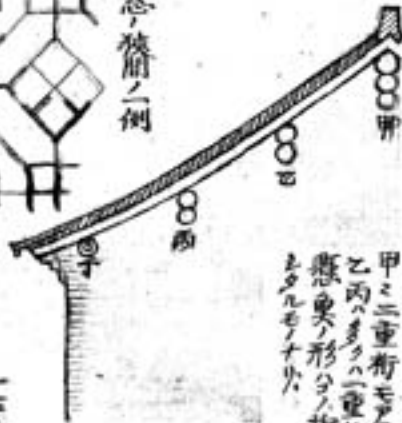


又斯ノ如ク(C)ナル下ノ棟以
外ノAノ部ニ於テ一段低
クセルモアリコノ意義最
前者ヨリモ明瞭ナルカ如
シ。
下ノ棟ニア鬼トニノ鬼
トヲ用キタル例モアリ、
ニツノ大棟鬼ヲ用スルト
キハコレモ可ナラン。

下ノ棟ト上ノ棟ノ
端トニテ明ノ鬼瓦
ヲ置ケル例甚ク
多クコノ場合ト下
ノ棟ノ位置直太ク
深シ。



窓ノ狭筋ノ二例

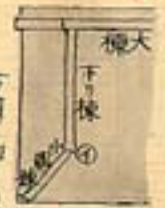


甲ニニ重桁モアリ然レハ
乙丙ハ多クハ一重桁ナリ、
懸魚ノ形分ノ桁ノ形ヨリ生
ミタルモノナリ。

渡中着二圖



○切妻ニ於ケル棟ノ取り掾



右図ノ如ク小高棟ヲ取レリ①ノ部分ニ於ケル
編縫ノ跡見ヘテ表ナラズ

○鬼籠子

軒ノ交リ極メテ激シキ場合ニ、隅ノ鬼籠子ハ常ニ甲
ノ如ク危殆ノ状態トナルコト鬼籠子ノ形ニ別段マ
マナリ、不如自在ニ形ヲ變ラセ乙ノ如クセトセンハ

甲



乙



獅子

○大棟飾リ

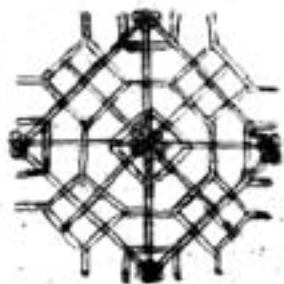
大棟ノ中央ニスツメトドヨリ變化セシカ如キ高キ
曲線形ノヤミ宝珠ノ立意アル裝飾ヲ置キ、
左右ニ極メテ複雑ナル模様ノ附加物ヲ流し、
風大ニ行ハレタリ、
會館ニ蔵堂ノ如キ俱楽奇場若クハ娛樂ノ爲
ナル建築には棟ヲ裝飾スルコトを好ミ、
籠ノ草おとこ透し模様ヲ作り出セルあり、
陶器を以て造られあり、フコウヤス



○面戸瓦ノ變形之種々アリ



馭東門外ニ在リ、
頗る異様ナル
意匠あり。



窓ノ一例



面 前



面 衝

○支輪ノ形ニ在リ、如キモノアリ

城ノ東門外ニあり、
八角十二重、最上層ノ屋瓦並破壊セリ。
形式ハ粗ミレテ野ナリ、烟突以上ノ價值ヲ見
ズ。

○十一重塔

武侯ノ像アリ感心セズ
石琴アリ章武元年銘アリ怪レキモノ也
建築ホトシテ別ニ價値ナシ

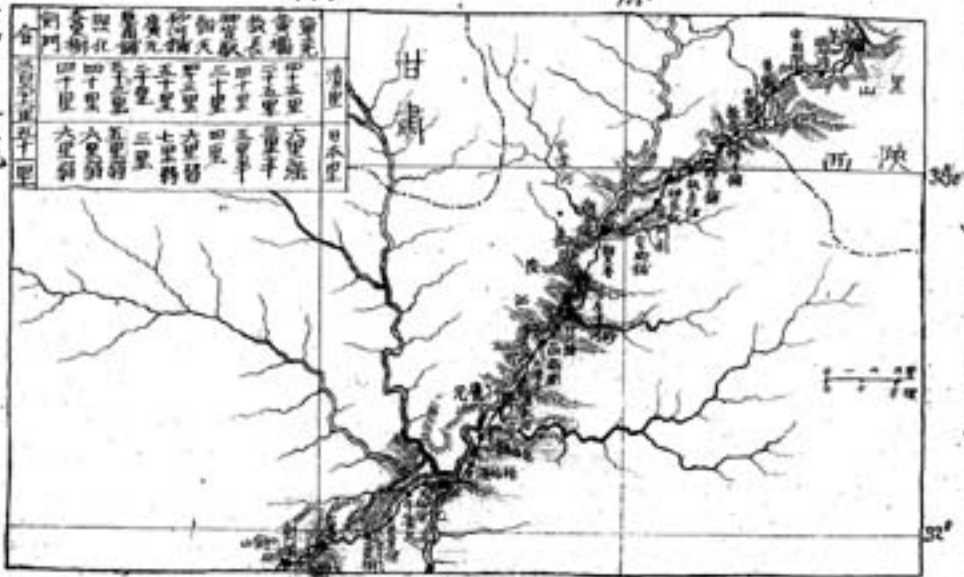
○諸葛武侯祠

城圍四里、人家凡そ一千と稱す、人口は
三四千位と見申、

十二 沔縣

縣城ノ東ニ里餘ニあり、
殿其堂、左右轉門
牌樓、
清音閣
二門
持殿
水殿
「左右鐘樓及鼓樓
在右西院及東院」

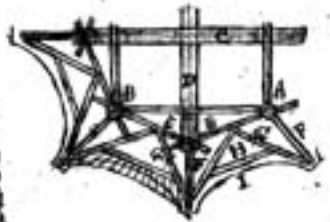
第十八號



十三 寧羌

城周回六里
人家外関ヲ合セテ六百許

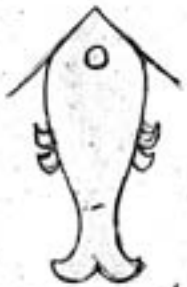
城内鐘樓ノ形式、見ルヘキモ、アリ三層、樓上層、
方形ニシテ八角ノ屋蓋、冠セシ、其方左ノ如シ。

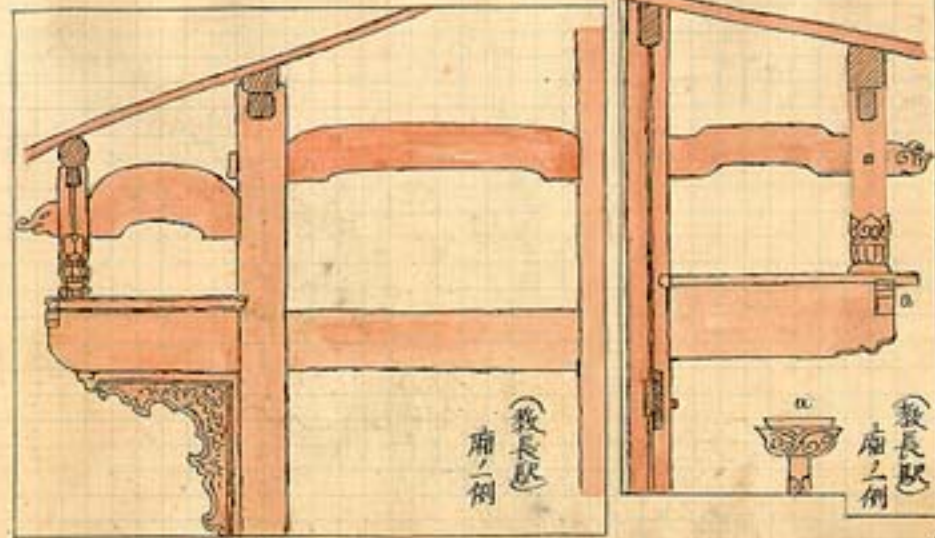


A B C D E F G H I
柱 土居 桁
柱 土居 上 架 け たる 桁
出 桁 ニテ 隅 木 上 兼 たり
ハ 力 材 ニテ 下 下 脚 石 上
ハ 材 質 良
ハ 軒 先



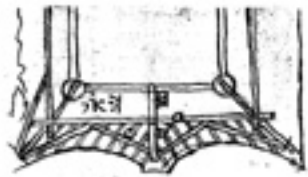
○ 懸 東 下 左 的 如 き あり



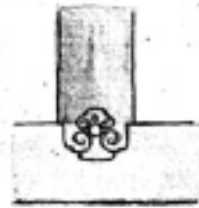


教長殿
廟之例

教長殿
廟之例

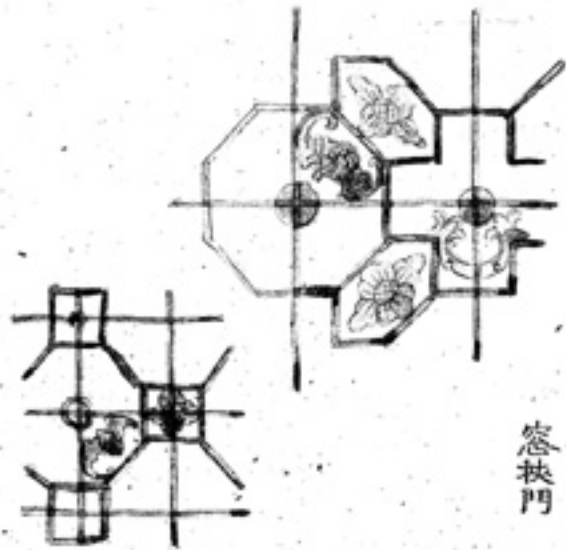
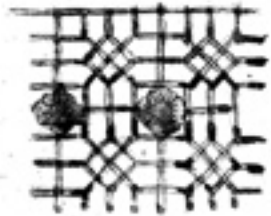


○朝天鎮
 東門三層閣、
 上層四角ノフランシ
 八角ノ屋ヲ蓋ヘリ
 a 外土居桁
 b 出射木兼隅木
 c 斜木
 d 椽

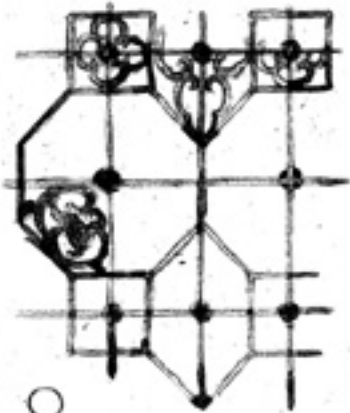


○神宜驛

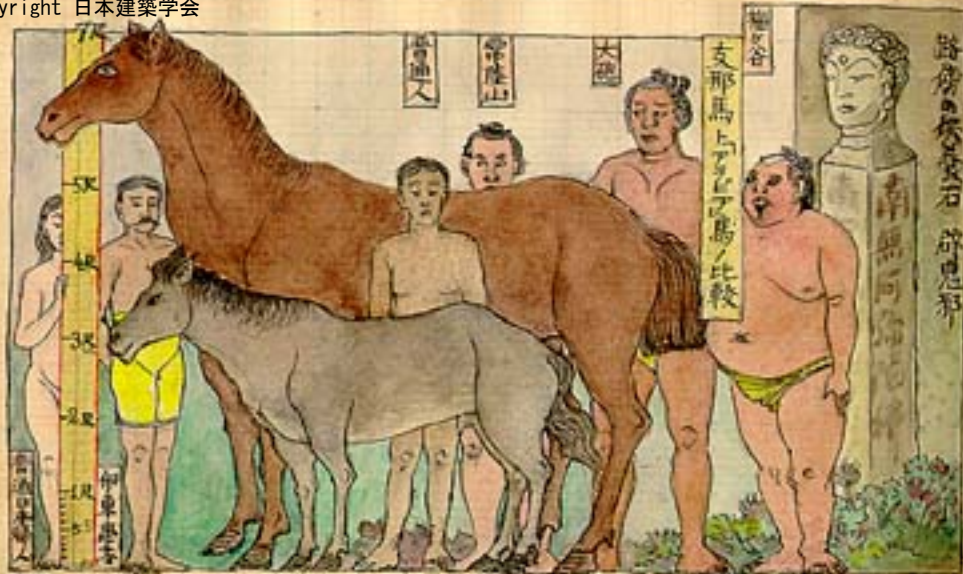
東口大平東ノ意あるものあり
 結構ノ意ある繪様を施したり



窓扶門



○教長取

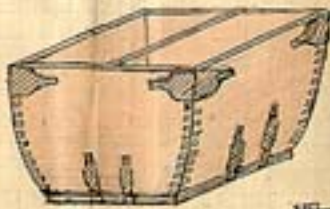




〇官斗

一升斗の寸法

上口方五寸九分
下底方四寸六分
深 三寸七分



十勺爲二合
十合爲二升
十升爲一斗
十斗爲一石

十四 千佛崖

唐元北東十里二千佛崖アリ殆ント龍門ト全

ノ有様ナリ只彼ト異ナルハ

(一)規模著シテ小ナル

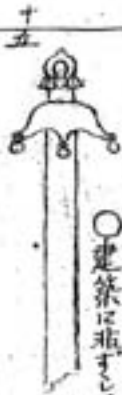
(二)最古ノモノニシテ唐代ヲ越ヘス、唐以下宋元ノモノモ見ユル

(三)形式手法著シク彼ニ劣レルモノアリ

ナリ石窟ノ最大ナルモノ廣サ一丈計リ其他ハ數尺ニ過ラズ、岩石亦堅実ナラス、砂岩ヨリ成ルモノ多ク、磨滅セルモノ多シ、後世之ニ彩色ヲ施シタルヲ以テ大ニ面目ヲ失ヒ、又形式ヲ改竄セルモノアリ

○建築に非ずして建築あり

○四層ノ塔ノ形アリ稀有ノ例ナリ、



◎右竈ノ内、見ヘタル年號

①茲に今支那建築の頗る面白き縦横があるので、まづ日本の建築と知らせて見たらうであらう。

②今支那の奥が追ひく深くあり、唐宋時代の研究して見れば、日本も又支那の古代を〇〇して唐宋を追ひ

③唐の憲宗の元和二年四月、即ち日本の平城天皇の觀瀛日本の大同年の紀元不四百六十七年である。

④而して唐は滅亡して宋に続きたるが、更に又南宋、この南宋の高宗に有名なる紹興の年號である。

⑤この紹興は、日本では、崇徳天皇から天治より、紀元一千七百八十四年から、次いで後白河天皇が保元とすれば、紀元一千八百十六年である。

⑥即ち唐の憲宗と南宋との間の長さの平城天皇より白河天皇まで三百五十二年の間にあるのです。

⑦今更には日支の圖表を簡單に書きたるのこある。



十七
○仙像
鳥仏師式ノモノ



中央ニ仏、左右ニ僧、ソノ左右ニ菩薩、ソノ左右ニ
仁天、其左右ニ獅子、仏ハ獅子坐ノ上ニ跏趺シ
他ハ皆待立ス、後ニ樹木アリ、三面六臂ノ神人
日月ヲ撰ケタリ、斯ノ如キ配合ハ龍門ニモ多ク見
サル所ナリ、



支那			日本		
年號	時期	帝王	天皇	年號	年紀
1 元和	2-4	唐宣宗	早城	大同-2	1467
2 大中	13-1	唐宣宗	清和	貞觀-元	1519
3 廣明	2-6	唐僖宗	陽成	元慶-4	1548
4 咸平	3-4	唐哀宗	一條	長祿-3	1661
5 元祐	3-1	宋哲宗	堀河	寛治-2	1748
6 元符	? ?	宋徽宗	〃	康和-2	1760
7 紹興	? ?	宋高宗	崇徳	天治-?	1784
8			後白河	保元-?	1816

(乙) 壁面式、モ、
 頗、横、廣、ク、眼、長、ク、顯、張、レ、ル、モ、ノ
 (丙) 天平式、モ、
 容、貝、端、正、姿、勢、優、美、ナ、ル、モ、ノ

○ 縣志
 千佛巖 在縣北十里江東即古石櫃岡也明皇御
 通鑑大江杜詩云石櫃峯上臨虛高望
 先生靈巖草木作楸而作唐身抗壘石不餘餘
 遠以通備

按スニ大同ノ石佛寺

洛陽ノ龍門

廣元ノ千佛巖
 ハ支那古化ノ仙像ノ遺華ヲ擬スヘキニ紀念物ナリ
 大同ノモノハ純然タル北魏ノ美術ヲ代表シ龍門
 ノモノハ後魏ノ美術ニ唐代ノモノヲ混和シ廣元
 ノモノハ唐代ノモノニ宋元ノモノヲ加味セルカ如シ
 而シテ千佛巖ノモノハ後魏ノ遺風ヲ
 存スル上種印度的ノ趣味ヲ有スルトハ特ニ興
 アリ成以テアリ

因ニスク山西陝西河南辺穴居ノ人民アレテ見ユリ
 而シテ今石仙寺以下ノニテ明ヲ見ルニ佛龕
 ノ形狀全ク穴居ノ石窟土窟ニ均シ余ハコレニ
 因リテ後魏ノ人民ハ好テ穴居セシテヲ知ル
 木造建築ノ人民ハ其神仏ヲ木造ノ宮殿ニ安置
 セルカ如ク石造建築ノ人民カ其神仏ヲ石造ノ宮
 殿ニ安置セルカ如ク石窟内ニ神仏ヲ納メタル
 人民ハ亦タ石窟内ニ住居セシモノナラザルベカラズ
 後魏ハ匈奴ノ匈奴ノ生活ノ狀之ヲ以テ推知ス
 ベキナリ

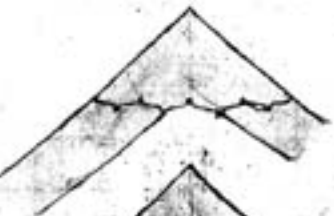
(十五) 廣元縣(嘉陵江南岸)

或聞十里

人口八千斗

唐ノ武后ノ生レタル地ト称ス

○ 考、懸、巢、ノ、代、リ、ニ、在、ノ、如、キ、手、法、ヲ、用、ユ、ル、モ、ノ、ア、リ、



以上何レモ祖野ニ見ルニ
 足ラス左ノ如ク裝飾セハ
 可ナレハ



十八

四大金剛の内

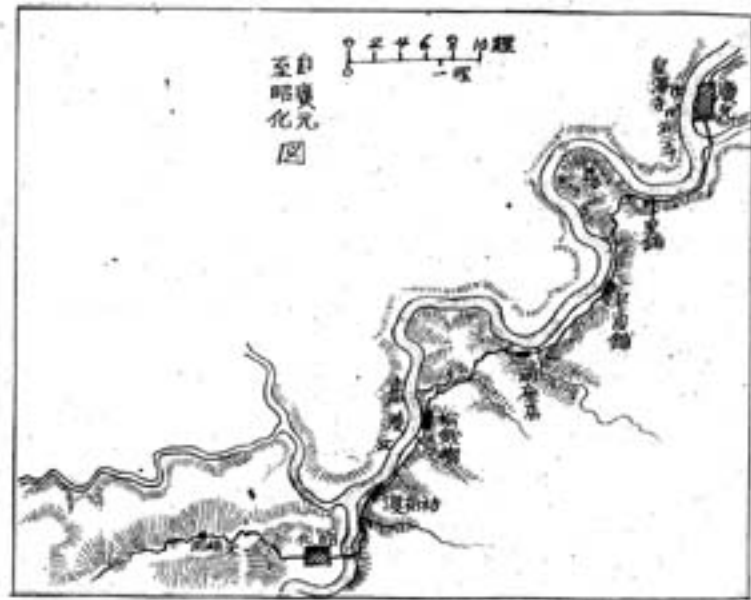


四大金剛の内、又名四大天王



例ノ如キ記置ニテ
 斯ノ如キ金剛ノ記
 之ハ珍ワレ
 奥ノ石龕内ニテ
 本道ノ丈ケ丈六ナリ

①皇澤寺(江ノ原ヲ廣元ノ西在リ)律

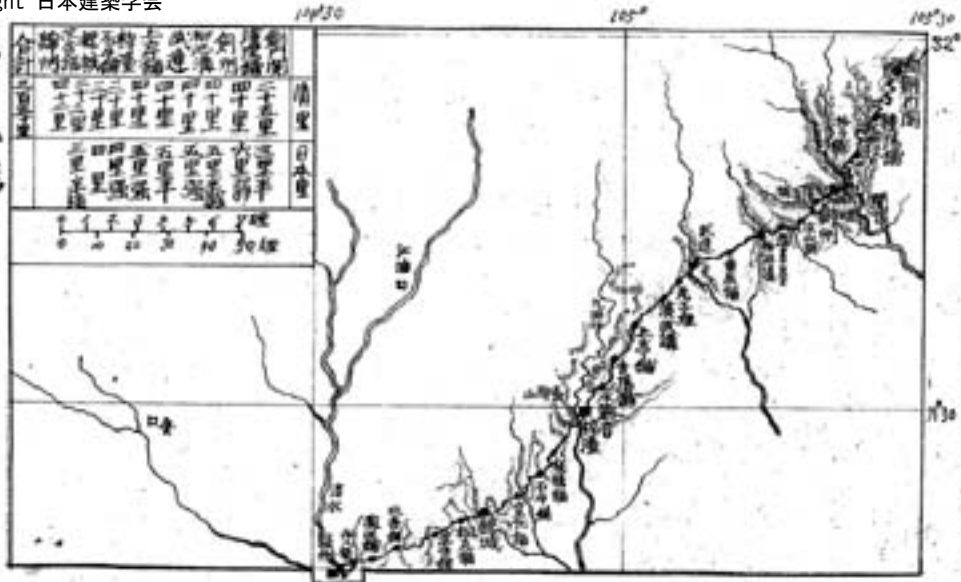


68
 一位置は見ゆ
 マ輪亭、曲流ナルニ由リ烟突以上ノ階僅アリ



二河外ナホ数多ノ石窟アリ多少趣味アル仏像
 ア有ス、ミナ大同小異ナリ
 寺内マタ紹熙五年ノ石碣アリ(壁碑あり)
 マ寺は則天武后ノ開ク處ナリトユロフ
 ○洞二寺
 皇澤寺ノ南隣トリ洞窟ニアルヲ以テ名ツクト
 ム、別は觀ル可キモノ無シ。
 ○廣元西南十里鋪
 八角十三重ノ塔アリ形状甚多優秀ナリ、敬造。

第十九号



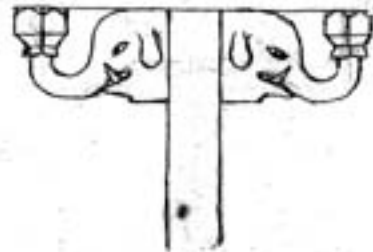
①七 昭化縣

縣城大々圃三四里
戸數三百斗

城内蜀ノ費禱ノ墓アリ。
其他建築茶トミテ別ニ觀ルベキモノナシ



三



劍安橋



劍關附近之風景 劍山遠景



劍山(劍門ヲ南ヲ望ム)



57

劍閣



56



全上
窓
換間

八角三層形狀甚々美ナリ



全上内部
繫梁



劍州城外
儒學内
三層樓廂

十八 劍州

細田里
人家至日



明治三十五年十月二十日晩、夢ノ図

特送りニ撞マナル形ヲ用キタリ、例セバ
動物ノ形ノ如シ、草等ハ普通ナリ



懸荷門



其廟

城ノ東南山ノ頂ニ塔アリ、八角塔ト云ス、石ト礮ヲトコ
以テ造ル、下部ニ明代ノ彫刻少し見レシ、ミラ他ノ
見ル可キナレ、六層ナラ、一奇トス、九輪粗野、
コノ塔ト河ヲ距テ、新塔アリ、高百二十尺計リ、見
テ八角十二層、テ間ニ屋根ナク、極シテ凸起少ナキモ
一見テ以テ層數ヲナス、屋ノ形インシレキレコト
アル曲線ナリ、九輪粗野、要スルニ見ルニ足ラザレモノ
ナリ、

○重陽亭

城ノ東南ノ山上ニテ、千仏崖ノ如ク、岩石多ク鑿テ
仏像ヲ彫出セリ、唐朝ノ遺物ナリ

(南側)



二十 ○重陽亭

唐ノ大平八年、
治平十一年、
又天寶十四年、
大曆七年、
雲南、
又天寶十四年、
大曆七年、
雲南、



(北側) 邪鬼



式屋臺三名

劍州附近、墳墓



重要ナル現象

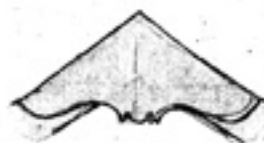
- (甲) 邪鬼ノ相良全然日本ノ樂師寺奈奈良金堂
本尊ノ其堂座ニ於ケルモト全一ナル
- (乙) 四天王ノ兜ナキモノ、衣紋大、法隆寺金堂ノ
山口大口作ノ四天王ニ類スル点アル
- (丙) 兜ヲ着セシ金剛ハ皇澤寺、於ケルモト符合
セル
- (丁) 線條及ヒ模様的手法ハ全然我々所謂天
智式ト符合スル



○宜化館
コノ種類ナホ
甚ク多シ



編端ヨリ
變化レ
タルモノ



某廟、
懸奥、
編端、
變化レ
カ如シ



○文塔
城南五里ニ在リ八角十層日梯形ヲナス形式甚
簡素ニシテ烟突以上ノ層ナシ但シ十層目ナルハ一奇
ナリ九輪モ極メテ粗野ナリ高百五十尺斗ナリ

蓋天宮
禹廟
等ミテ華麗ナル建築ナリ
城圍四里許
戸數城内外ヲ合セテ一千斗

③ 梓潼縣

又千佛岩アリ大小ニアリ年代不
詳唐以後ノモノナルカ如シ製
作甚ク粗野ニテ價值少ナシ



○古陽鐘
閩帝廟及文昌祠
アリ規模非常ニ宏
大ナレ建築トシテ
別ニ多ク價值ヲ見
ズ

○武運驛
覺死寺
類真卿書道運驛ノ三字ヲ刻セル碑アリ真
に美ナリ字ノ大ニ方ニ尺五寸位
大曆五年五月
又慶元ノ古碑モアリ

○魏城驛
驛東南四里三米高塔アリ其輪廓左ノ如シ
梓潼ノ文塔ヨリハ運カニ長ナリ



張家河塔

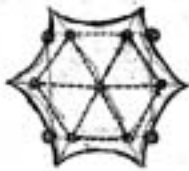
六角十三重下層ニ大ヤ十六尺二寸五分
丈風塔ト稱ス



五鎮塔

コノ種ノ塔ハ地相上ヨリ來ルモノノ如ク必ス都會ノ
東南四五里ノ所ノ丘ノ上ニ立テリ

城外又(東南)三層閣アリ初層ハ二層方
形オ三層六角ナリシテ左ノ如シ



① 鄆州入口ノ河岸に在る塔

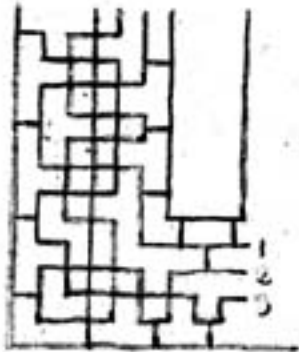
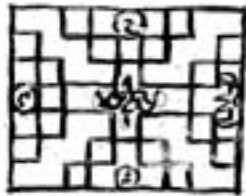


八角六層ノ上に向つて急に縮少す。

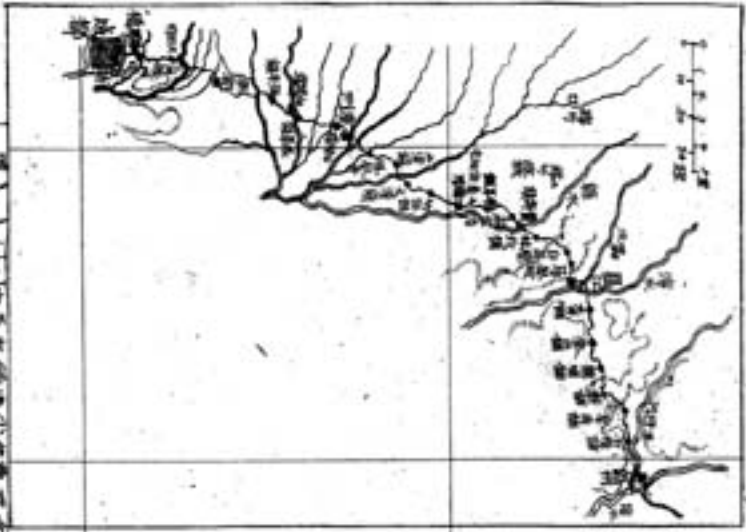
東南五里斗リに丘ノ上に例ノ塔あり八角十層
形式別ニ珍奇ニアラス魏城驛ノモノニ似タリ

州ノ東北四十二里ニ塔アリ四角七重毎層四
隅ニ道離セル支柱あり。この種の塔の小なるもの
路傍に多あり

(自塔 在縣(安縣)城南五十里許層十三層
高二十餘丈)



日本	千里	熱河	六千里
青島	六千里	青島	六千里
天津	六千里	天津	六千里
北京	六千里	北京	六千里
保定	六千里	保定	六千里
石家荘	六千里	石家荘	六千里
鄭州	六千里	鄭州	六千里
開封	六千里	開封	六千里
洛陽	六千里	洛陽	六千里
西安	六千里	西安	六千里
蘭州	六千里	蘭州	六千里
成都	六千里	成都	六千里
重慶	六千里	重慶	六千里
昆明	六千里	昆明	六千里
貴陽	六千里	貴陽	六千里
蘭州	六千里	蘭州	六千里
西寧	六千里	西寧	六千里
拉薩	六千里	拉薩	六千里
香港	六千里	香港	六千里
澳門	六千里	澳門	六千里
台北	六千里	台北	六千里
台中	六千里	台中	六千里
台南	六千里	台南	六千里
高雄	六千里	高雄	六千里
基隆	六千里	基隆	六千里
新竹	六千里	新竹	六千里
嘉義	六千里	嘉義	六千里
屏東	六千里	屏東	六千里
花蓮	六千里	花蓮	六千里
台東	六千里	台東	六千里
澎湖	六千里	澎湖	六千里
金門	六千里	金門	六千里
馬祖	六千里	馬祖	六千里
香港	六千里	香港	六千里
澳門	六千里	澳門	六千里
台北	六千里	台北	六千里
台中	六千里	台中	六千里
台南	六千里	台南	六千里
高雄	六千里	高雄	六千里
基隆	六千里	基隆	六千里
新竹	六千里	新竹	六千里
嘉義	六千里	嘉義	六千里
屏東	六千里	屏東	六千里
花蓮	六千里	花蓮	六千里
台東	六千里	台東	六千里
澎湖	六千里	澎湖	六千里
金門	六千里	金門	六千里
馬祖	六千里	馬祖	六千里



第二十號



下層三層四方、三層マデ方形四、五面層八角
初層二層、軒破れ中央に鍍屋根り冠る
鏡子軒先天、簷へ輪を飾り甚た奇ナリ
加之屋根はインフレクションある曲線より成る

○魁星閣



○棟飾り

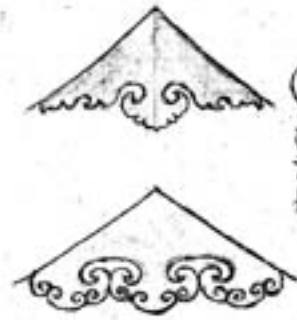
この種の棟飾り太く多し、
又ゲルブルに斯の如きも多く
見ゆ



○落鳳坡(士元戦死處城西北七里)
 龐士元之墓(羅江城四十里白馬關)
 円塚石造、軒高七尺七寸九分、
 屋八椽頂に宝珠、一種の兒ス、
 コノ墓土、形コノ如シ多ク見ス。
 墓前ノ一壘、士元ノ像アリ、
 其前ノ一壘、孔明士元並ニテ像アリ、士元ノ醜白
 ハ左ノ如シ。

○落鳳坡(士元戦死處城西北七里)

龐士元之墓(羅江城四十里白馬關)



①羅江縣

城圍四里三分
人家六百余
人口三千餘人



喜雀
(綿州城內)

上茅標

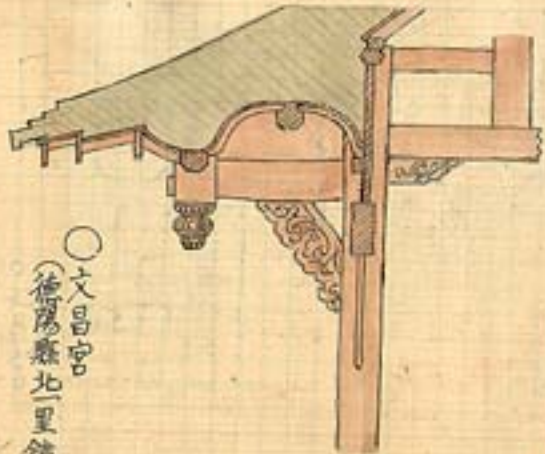
綿州送兵槍

貓兒刀

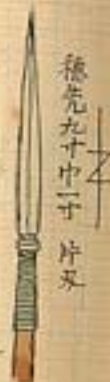
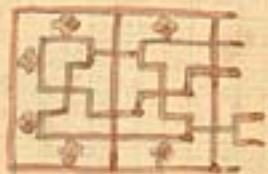
羅江送兵槍

綿州附近農具

批胡豆取土



○文昌宮
(德陽縣北二里鏡)

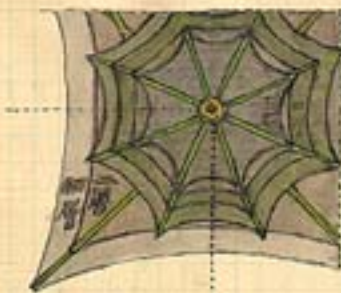


穂先九十寸 片刃

德陽縣
護兵槍



麗士元之墓



五層、蘇州、魁星閣に倣たり
初層二層、四角三四五八角、三層に廂屋あり、



三層
初層三間四角
二層及三層ハ八角、二層ノ四隅ニ折曲リケル
廂屋椽ヲ所加セル意匠奇ナリ

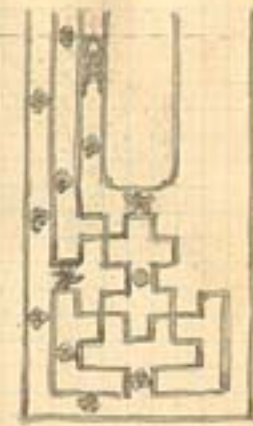
全体ノプロポーション極メテ佳ナリ。

○奎星閣

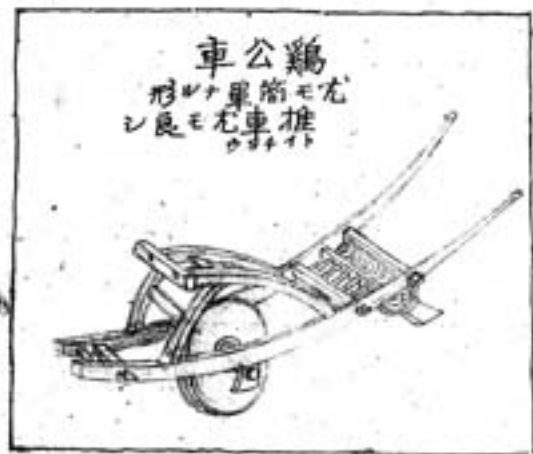
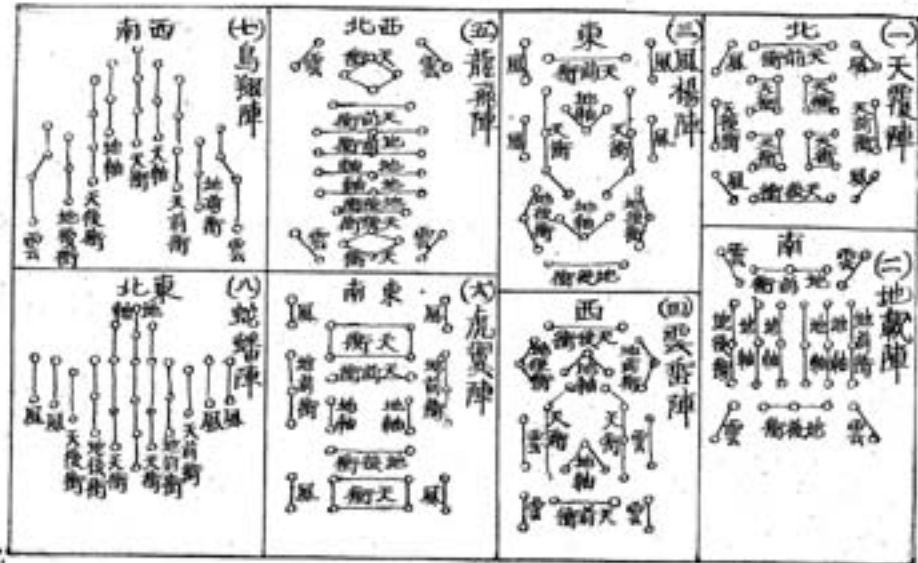
Bノ先き甚しく長く突出せしめらるる様様と云
せるもあり
又句配ノ甚々緩ミとして日本普通ノ唐破風の
如き形をなせるもあり



⑤ 德陽縣
城圍凡七里、戸數三千ト稱す



文昌宮



○三帝宅
 (二十四)漢州
 城固七里城内人家三千有餘
 關外合計三千戶人口二万五千

別後古トミヲ成御出ワ



三十五 新都

城圍五里城内、外圍ヲ合セテ戸數五千人トニ萬餘ナルベシ

○公館の家具大

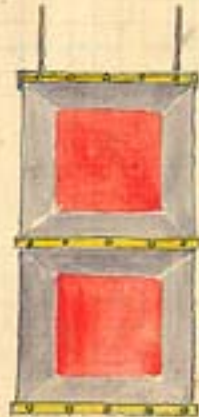
○公燈

○内燃牛油燭

○門前ニ懸るもの



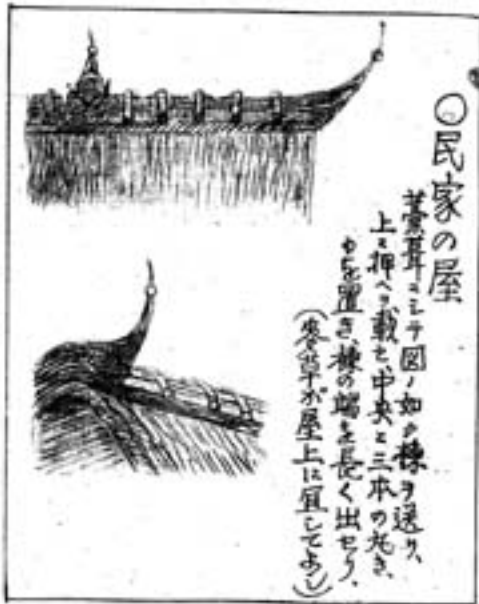
○史板簾子(會客廳の入口も前ニ掛るもの)



○門簾(開仕切りの入口に懸るもの)

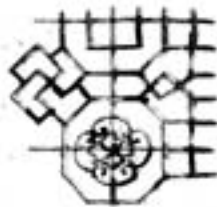


○床(又丸地)障壁並ふり



○民家の屋

茅葺耳コシテ四ノ如ク棟ヲ送ラ、
上ヲ押ヘテ載セ中央ニ三本の柱キ、
中ニ置キ棟の端を長く出セリ。
(寒風雪ノ屋上ニ宜シトモ)



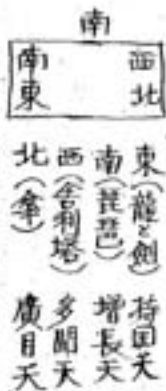
○宝光寺(臨涪泉)

△二天門
△天王殿
△十三重塔
△七佛殿
△大雄宝殿
△法堂
建築特トシテ大ニ觀ルベ
キ物モナレ。

○四大金剛
皆左手ニ降魔杵ヲ持チ右手ニ金剛圈ヲ持チ
タリ。四ノ内ニツハ持チ地ニ下ラニツハ有テ上ニ
向ケタリ。四大金剛ノ名ハ青龍金剛、白象金剛、
金剛薩埵、求金剛、白淨水金剛ナリ。

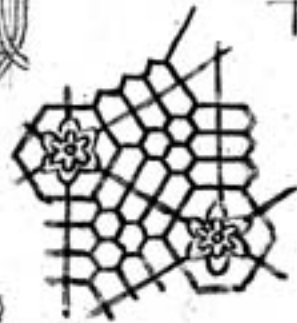
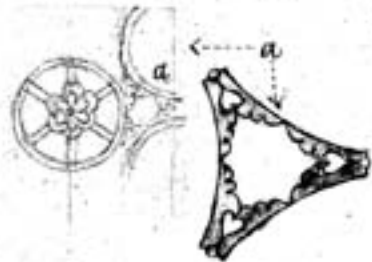
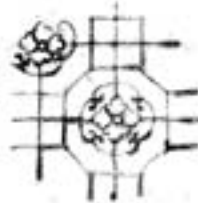
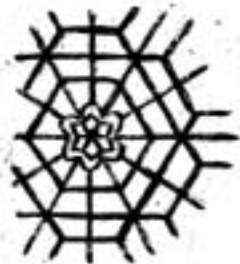
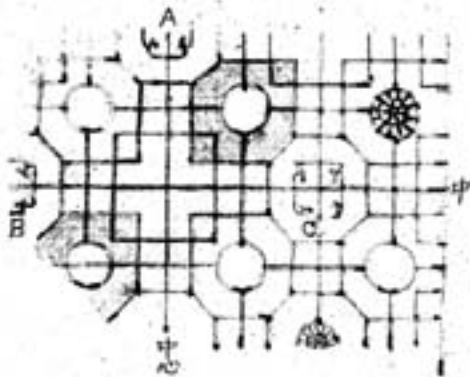
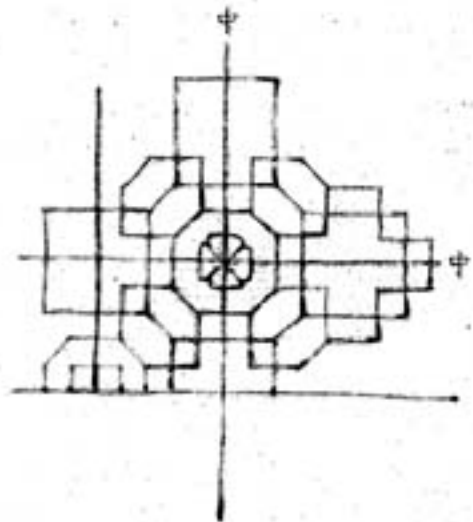
龍王寺ハ阿育王國ノ時ニ開テ今ノ土塔ハ唐代
ノ創建ナリト云ヒ傳フ。
十三重塔粗野ニシテ見ルニ足ラズ、

○四天王の配合

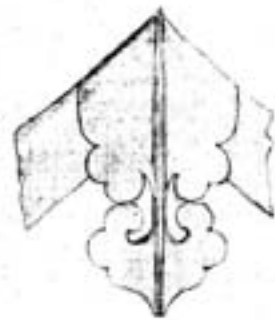


コノ説寺僧ノ云フ所尤モ信スルニ足ラズ

當時縁起ニ左ノ文アリ。
周靈王四十二年西域阿育王ノ之四十二年云々...
俄ニ信スヘカラザルモ、阿育王ノ年代ヲ考フルニ材
料タルベキカ。



○文珠院



臨濟宗傳覺堂劉陳持兼茶場馬殿
施窟凱形構和芝震映允定洪良盛

(照烈廟、神位、配置)

趙孫張馬王姜黃寧向傳馬張張馮
雲乾賀運平維志化露愈志延南宮

○武候祠
○照烈廟

文帝、像、佛、銅、殿、多、非、常、古、キ、モ、ト、リ、其、傳
二、同、キ、レ、モ、漢、代、ト、シ、テ、云、ス、キ、大
建、築、ト、シ、テ、大、ニ、使、使、ナ、レ

○昭覺寺(臨濟正派)唐代草建

△上堂

△大殿 寂迦三身、像ヲ安置ス

東、報身盧舍那佛



中、法身毘盧尊佛



西、化身寂迦尊佛



△釋覺殿

本尊準提佛

左右十二緣覺之佛

後拜院(賦)天

△天王殿

東 韋陀

南 弓矢

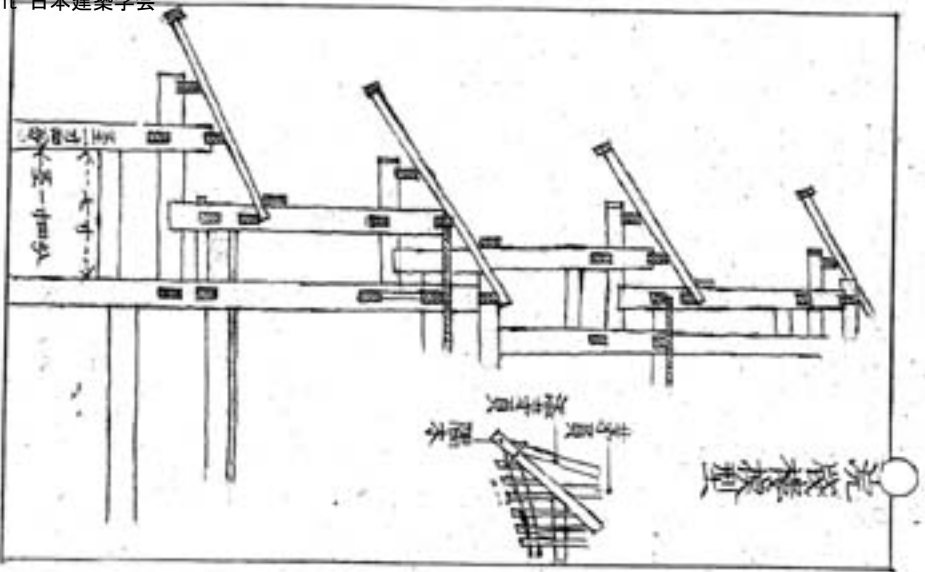
西 拿

北 舍利塔及扉(多聞)

(持圓)

(增長)

(寶日)



前面 弥帯佛
後面 接引佛
△法堂(葦籠橋)
△大山門



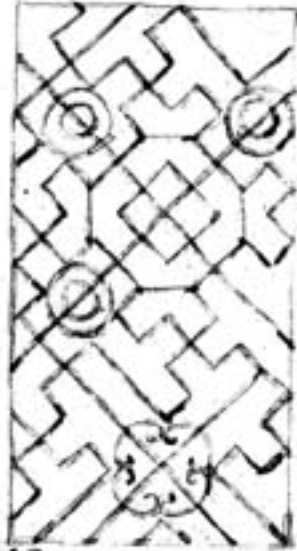
○沈殿樓

△崇徳樓

四層八角
琉璃瓦

初層、二層、方形、三層、

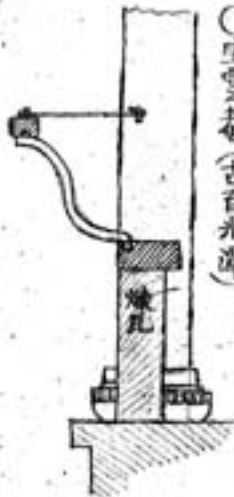
庭園甚々風雅ナリ、降清井アリ、多ク亭子
樹臺アリ、建築皆風致之富、城東ノ一勝
区ナリ。



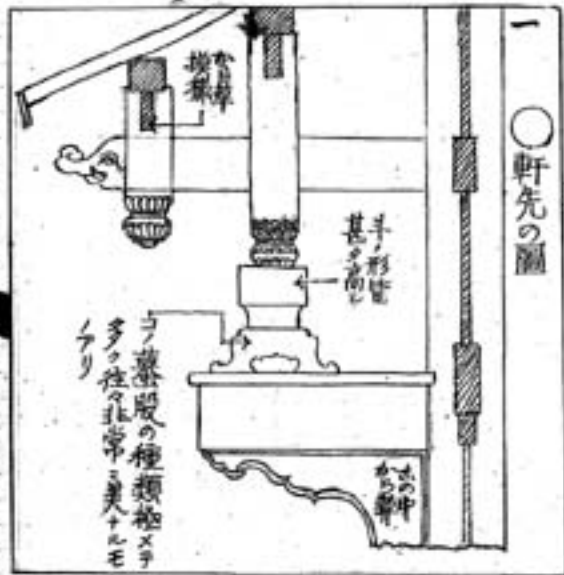
○青羊宮



廊下、欄干ヲ椅子ノ様造リシもの犬ノ便にシテ雅致あり



○宝雲基巻 (古百光源)



○軒先の圖

コノ燈臺股の種類極メテ多ク往々非常ニ美ナルモノアリ

コノ法我国ニモ應用シ得可シ。

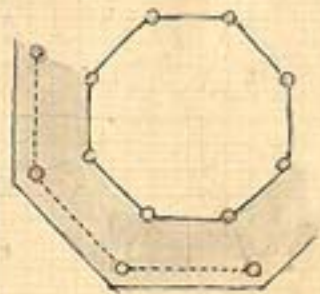


△当地方陶磁器ノ碎片ヲ利用シテ建築裝飾ニ用ニルモ多クヤシ兒戯ニ類スルノ嫌ナキニ非サルモ配合ノ方法はヨリテハホク好結果ヲ見ルヲ得ベキナリ應用ノ例ハ文字ノ模様ヲ充填シ若クハ或ル空間ヲモ充填ス。

社公祠



青羊宮本尊老君、仏の須弥坐の上、坐し、仏の
光背ヲ後ニス。道士本奥ヲ叩テ誦ス。茶具一切
併ニ均シ



△八卦基壇
下層四角形
上層八角形
但し一木ノ柱ニテ上下
ニ貫通セリ
廂屋椀母屋ニ接
テテテ遊離セリ

○草堂寺(臨濟)唐代草建



△大殿 △山門

△戒臺

△方丈

唐代、草建ナリト云フ

△天王殿 琵琶

持国 弓及矢

多聞 舍利塔及鼠(鼠ハ塔頂ト懸)

廢目 傘及龍

○杜公祠

草堂寺ニ隣リテ在リ

内ニ英國使人ノ祠アリ

成都建築ノ材料、中ニ松ヲ尤モ注目スベキハ

軒廻リ及ヒ妻飾ナリ

一 地衝木

四垂木ハ見ズ、多ク扁平ナル(横、廣シ)形ニアリ

二 飛之ん垂木

多クハト軒ナレバ起之ん垂木ノ飾ナリ、往々マシ

三 扁垂木

形ハ扁平ニシテ板ノ如キモノアリ、木員其ノ亦ナリ

四 垂木隠レ

多クハ場合ハ飛之ん垂木ノ前ニ垂木隠レシテ

五 懸魚

多クハ蟠蟠ニ懸ベノ意ナリ、或ハ單ニ蟠蟠ノ形ニ

六 軒ノ反リ

非常ニ大アリ、腐木ハシナ斜メニ上方ニ向テ反轉ス

七 棟飾リ

多クハ甚チナ文飾セルモノナリ、鬼瓦ノ用ナシテ長

八 切妻文

切妻ノ形、種々アリ、要スルニ左ノ四盤ナリ

九 傳レ市街ノハハチ子自ニ用ナラシ、モノミレテ木造

ノ堂殿ノ切妻ハコノナリ

○雑録

① 各地に於ケル家屋新築ノ有様ヲ見ルニ地形
 ヲ水平スルコトナク柱ハ殆ヨリ曲レリ又瓦柱ノ如キ
 公真四ニ割ルコトヲササズサテ欄目板ナドモ全シ
 編ミアラズ本末幅ノ異ナル板ヲ隨意ニ欄目々
 リ元來木材多シキヲ以テ木ノ形ヲ正スル餘裕
 ナキニモ由ルベシト云一因ハ精確ト云フ思想ノナ
 キコト手工ノ拙キト云フ事ハサレ得ズ
 北清ト異ナルハ便所ノ設アルコトヲ推察スルニ共
 同便所アリサレバ北清ノ如ク性来ノ其便所ヲ
 流スモノナシ只ク奇ナルハ性来ノ便所モ私家ノ
 便所モ必ス戸ヲ設ケス故ニ便所ノ體ヲ露ハ
 スモ使用ノ人立宅モ頗る看セズ人亦多ク醜體
 フ見テ醜トセズ真ニ不可解

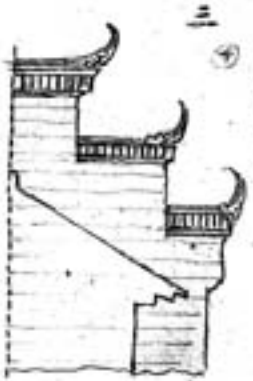
② 市街ノ道幅ノ狭キハ濠洲クベシ犬街ニテ二間ニ
 五廣キ乃二間半狭キハ九尺位

③ 肩摩較擊ノ觀ヲ呈ス道路ハミナ閉塞石敷
 ナリ往來ニハ馬若クハ驢子ヲ用テ一モ馬車
 ナシ富メルモノハ轎子ヲ用ユレドモ富マザルモノ
 ハ徒歩セザルヲ得ズ轎子ハ二人若クハ三人トモ
 俾ス一里ノ間一人七丈位故に三人トモ俾テ轎
 子ニテ十里ヲ行ケルニ百十丈位ナリ二百十丈は
 日本ノ三十二錢位ニ當ル十里は五十町有ク

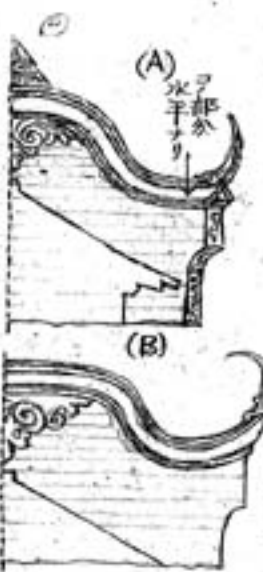
④ 成都ノ氣候自ノ極暑者に於テ九十三度を越
 ゆるコトあり嚴寒ノ際零度にはたゞ到るコトあり
 冬は少量に於テ尺餘を積み積り積り要するに氣候
 尤も温和ありと言ふ可シ

⑤ 成都附近ハ木材多ク常に泥家あり又穴居
 ナレコノ点に於テ北清ト全ク趣ヲ異ニス

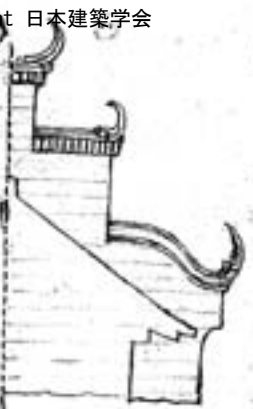
甲 直線形ノモノ



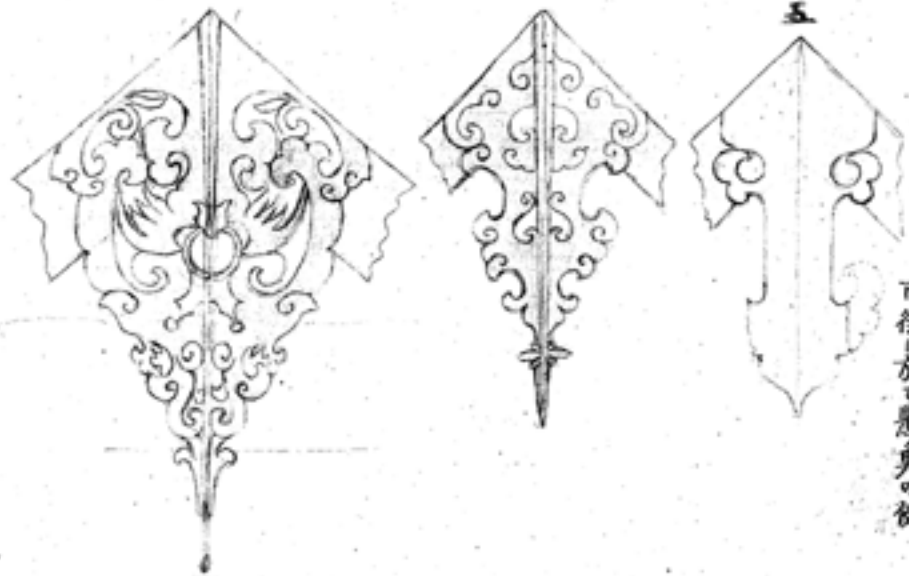
乙 曲線形ノモノ



丙 甲乙兩種混用ノモノ

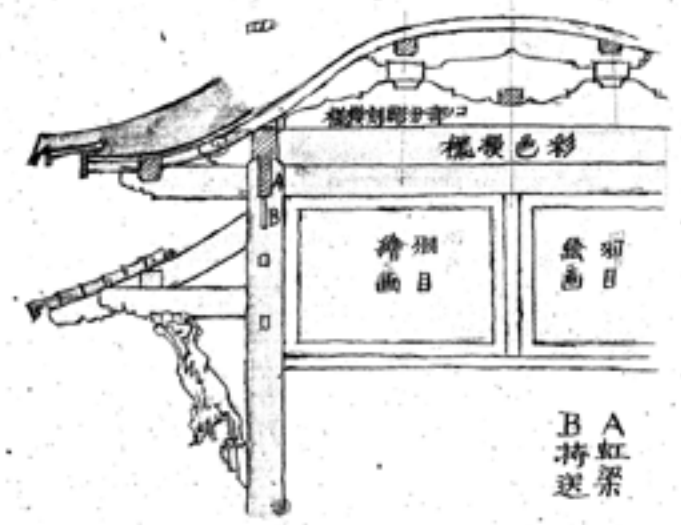


① 斜線形ノモノ即チ上ノ火リタルモノニ甚少ナレシ



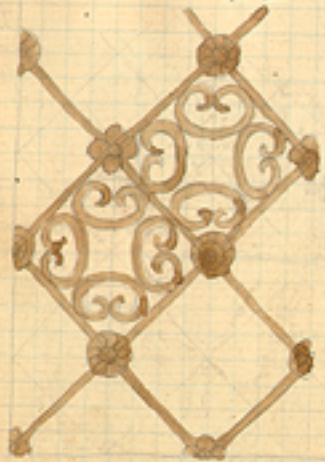
市街に於て懸垂の例

⑤ 雙流縣 城田十里斗 人口八九千



○金花橋古關帝廟の門

新津城内聖廟



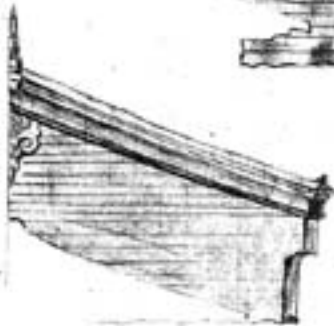
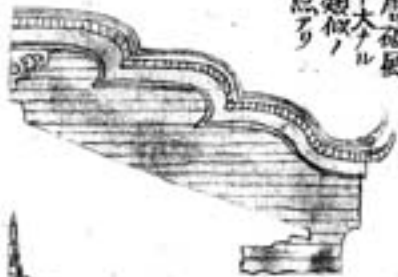
新津城内民家



串頭舗

中央ハ六子ニ乗馬馬ノ丈ヲ三尺五寸
右ノ六足馬ノ丈ヲ四尺三寸

コノ形我が
唐風
上大ナル
類似ノ
点アリ



○切妻の形

- (1) 節孝坊
節婦孝子ヲ旌表スルモノ
- (2) 徳政坊
知府知縣ノ善政ヲ旌表スルモノ
- (3) 百歳坊
百歳ニ達セルモノヲ旌表スルモノ
- (4) 狀元坊
狀元ノ位ヲ得タルモノヲ旌表スルモノ
- (5) 貞壽坊
貞操ヲ守リテ高齡ニ達セルモノヲ旌表スルモノ
其他又種々アテシニ構造形式大同少異アリ

○坊ノ種類

コノ種ノ懸奥非常に多シ



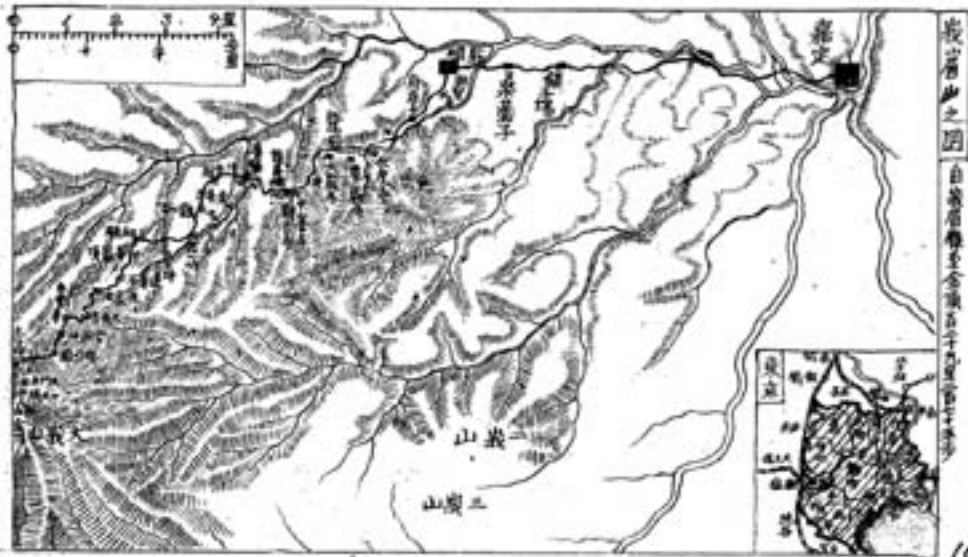
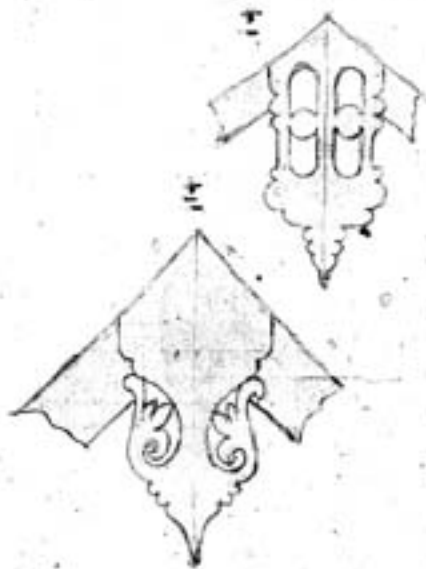
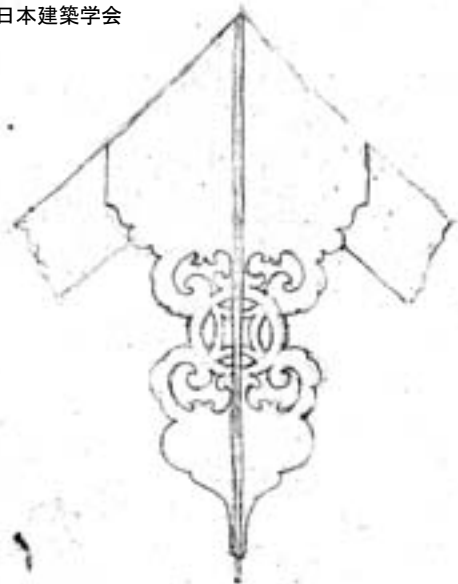
⑤

新津縣

城田三里

戸數四百人口二千許





卦



陽而

陰而



鎮子場民家

⑤

我眉縣

城田四里

戸二千 人口九千

⑥

嘉定府 (樂山縣)

城田十里 人口四萬 戸八千

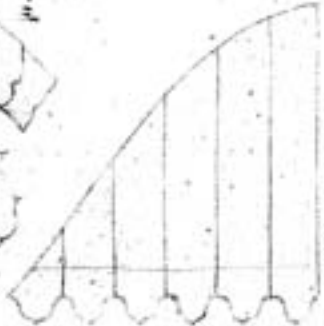
⑦

青神

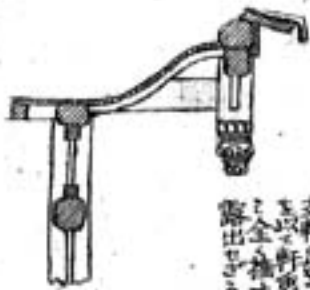
城田不詳

戸數三百 人口千五百位乎

十三



妻飾りの異例



本輪の如き手法
を以て軒裏を包
こ全に挿木を
露出せし例



懸真一例

⑧

眉州

城田九里余

人口外附を合せて一萬四千

嘉定より我眉迄、仏寺、於
仏前ノ卓上ニ上圓ノ如ク、皆半
切ニ丸形ヲ木ニ作リ安置セリ、
其何ノ意味ナルヲ知ラス、
有用木刻成、笋子形の
女神の人將卦抛地如如名
陽卦名陰卦名勝卦
勝卦大吉

	殿音徳	宝臺
大佛殿		
	堂齋	

○雷立日寺(二十三里)

- △山門の牌樓は横に屋を補足したる形。
- △普賢一休普賢殿に安置セリ。
- △大雄宝殿に八枚迎一休に於て居士あり。

大雄	寶臺
寶殿	寶臺

山門

○報国寺(十五里)

嶽眉山少縁起ハ嶽山誌ニ詳ナルハ愛之譽也。
 嶽山ハ大嶽ヨリ二三四嶽山ニ至る大嶽山ハ嶽眉縣
 ノ西南百二十里ニ嶽山ハ大嶽山ノ東百里ニ嶽山ハ
 ニ嶽山ノ南十里四嶽山ハ嶽眉縣ノ西二十余里に
 在リ。
 嶽眉縣ノ南門ヲ出ツレハ大嶽ノ絶頂ニテ若干ノ距
 離ニ於テ無数ノ寺院アリ。左ニ列記スル所ハ其重
 要ナルモノナリ。

三 嶽眉山



田家(水牛、豚、鶏、鶯、鶯、猫、留守番)

○伏虎寺(十八里)

△山門
五向三戸、樓門ニテ上ニ山門、額アリ
殿前ニ梯子アリテ上ニハニ金剛木造ナリ
梁間四向ナリ。
上層下層ニ全シ、但高欄ナリ。
下層軒之園



△虎溪橋 山門内に在リ

△牌樓

△普賢殿

△弥勒殿

△大雄宝殿

軟廻三休ヲ安置ス光背ニラマシメカシクアリ
極メテ尾作ナリ



以上諸建築皆皆頭常ニ粗野ナリ屋ハ下等瓦葺
ニテ棟飾ナシ木造ニシテ彩色ナシ

○華嚴寺(二十六里)

△天王殿

四天王無シ後ニ尊殿天アリ

△普賢殿

○純陽宮(二十九里)

△三官殿 天地水三宮ヲ祀ル

△普賢殿

△大雄宝殿 救地及十八羅漢

△純陽殿

△送子殿(三官殿ノ東北)

金宵・銀宵・玉宵ヲ祀ル子ヲ授ル神ナリ
ト云フ 樓上太子善菩薩ヲ祀ル。



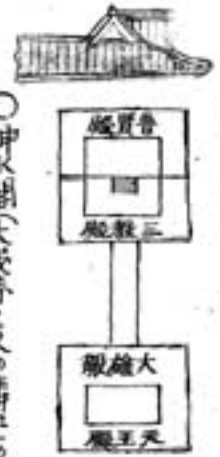
○大我寺(三十三里)

△天王殿(樓上玉皇ヲ祀ル)
四天王ハラマのぼマ。



- ① 琵琶
- ② 降魔劍
- ③ 傘及鼠
- ④ 蛇

△大雄殿
 △三教殿
 △善賢殿
 コノ善賢老爺ノ相アリ



○神水閣(大哉寺ノ東の隣にあり) 閣前ニ石幢ノ破壊セリアリ

○中峯寺(三十七里)

△天王殿
 △善賢殿
 十五 △大佛殿



天王殿ノ前ニ燃燈佛ト云フアリ
 額腹下骨ノ骨ノ上骨膝ノ足ノ甲ニ燈ヲ点スヘク
 小ナル蓮座ヲ附セリ。又両手ヲ合ヒテ一燈ヲ持
 セリ。

○觀音寺(三十八里)

○龍昇崗(四十里)
 △大佛殿秋迎佛前ニ燃燈佛アリ
 △觀音殿文殊並日賢ヲ合祀ス



十六 ○廣福寺(四十四里)



△新樓之三官殿と云ふ

○清音閣(四十五里)



△大雄室殿ニ秋迎之珠善賢ヲ安置ス



○息心野(六十里)



○觀心寺(五十五里)



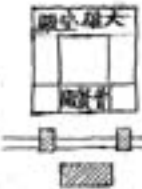
木殿と石造ノ舍利塔アリ我々空坐蓮印塔と似タリ



△新殿ハ天王殿に當ル、後面ノ章敷天ノ像見ルベシ

又後ニ伽藍アリ古白水寺ト稱ス

○白竜洞(四十七里)



○金竜寺(四十八里)



○萬年寺(五十里)

十七



普賢殿左右三十四天

コノ伽藍ヤ優等ナリ厨子建具等ノ裝飾見ルベシ
コノ廊ノ後ニ又一伽藍アリ本殿ヲ万年碑殿ト云フ碑造ノ殿アリ中央ニ普賢ノ象ニ騎セル像アリ高サ三丈許間圓ノ壁ニニツキユヲ作り其内ニ小仏像ヲ安置ス

△



○大乗寺(八十四里)

傳云、昔賢者若菩薩、地ヲ通過スル時、象ノ石ヲ洗ヒシトナリ、今コレヲ池存ス。



○洗象池(八十里)

午後四時遊度四十五度



○蓮華石(七十六里)



○華巖巖頂(七十二里)

△大雄宝殿ニ、釈迦文殊普賢ヲ安置ス

△鑿井堂ニ、釈迦文殊普賢ヲ安置ス



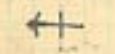
○開山初殿(六十八里) (午後二時遊度四十五度)

△普賢殿、普賢菩薩跏趺坐、左右童子、前ニ燈燈、後ニ蓮花天
△大雄宝殿、釈迦三身、左右十八羅漢、



○長老坪(六十五里)

大雄
宝殿



△大雄宝殿内ニ普賢ヲ安置ス
○太子坪(九十九里)ヨ、ニテ雲上ニ出ツ

方丈	大雄 宝殿	方丈	齋堂
			庫裏
		接引殿	客堂

○接引殿(九十四里)

△通明殿ハ大雄宝殿ナリ



○雷洞坪(九十二里)

△祖師殿ニハ白雲祖師ヲ祀ル



○白雲寺(八十八里)(コレヨリ雲中ニ入る)



殿皇玉

殿神財

玉皇殿ノ西ニ靈祖殿アリ

○天門石(百二里半)

△觀音殿前而觀去日菩薩、後面文殊菩薩、ゴノ
文殊殊々、瘦秀ノ相ヲ備ハタリ、
△普賢菩薩、騎象ノ相、銅造頗優秀、後ニ
阿彌陀、文殊、普賢ノ銅像アル見ル可シ、
殿内厨子アリ、太子、安直ス塔ノ名見ス由ル



○沓香塔(百二里)



○關祖師正殿(百二里半)

△觀音殿、六臂觀音(如意輪)ヲ安置ス



○永慶寺(百里)



永慶寺ヨリ西方ノ眺望

金頂男子仙亭を望む



○金頂(百四里半)



○錫瓦殿(古明心寺)(百四里)



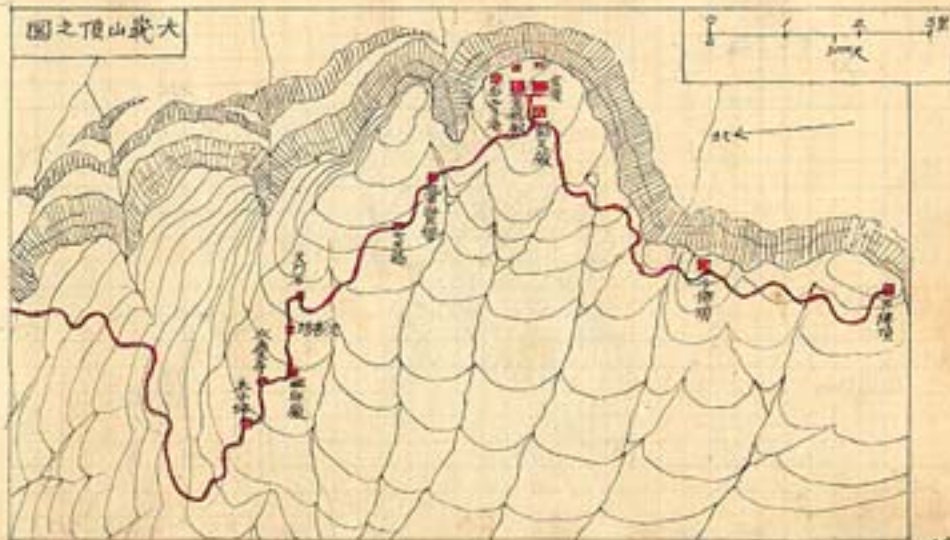
○善賢塔(百三里)



○七天橋(百二里半)



千佛頂の金頂寺墨引



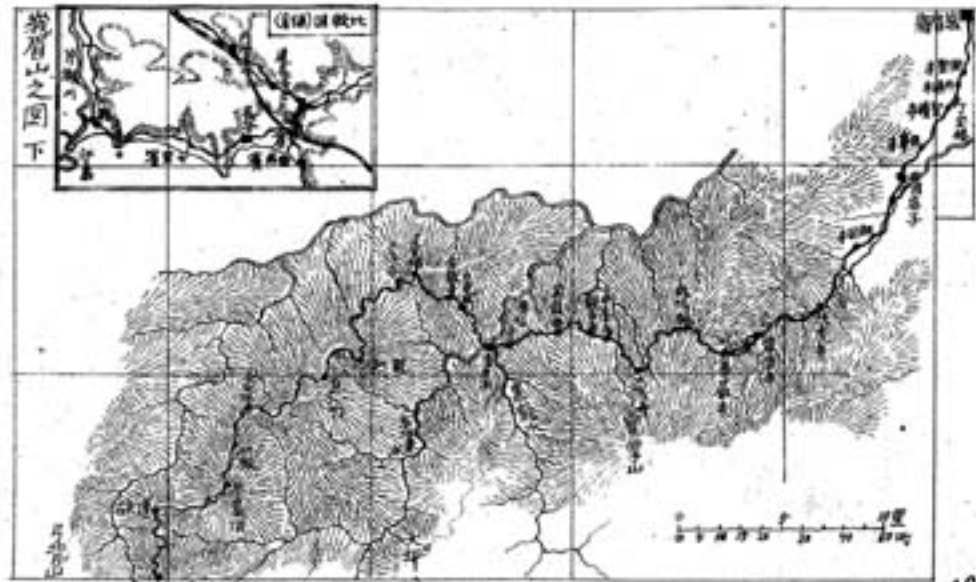
大蔵山頂之図



大森山之図上



大森川東望



○峨眉山建築ノ特性(昭濟)

①プラン

多クハ回廊ヲナシテ前ニ普賢堂ヲ安置シ普賢殿ト云ハ後ニ叙迦ヲ安置シ大雄宝殿ト云ハ左右ハ右ヲ齊堂或ハ庫裏トシ左ヲ客寮トシ客堂ハ前殿ノ一部ニシテ方丈ハ後堂ニ在リ。

山門ハ多クハ欠ク其他鼓樓鐘樓天王殿等ハ常ニ欠ケル(天王殿アルモノ一ヶ寺ノミアリ)

②材料

皆木造ナリ一切石礎土ヲ用ケス。屋モ板葺。欽板葺若クハ粗末ナル椽瓦葺ナリ木材ハ山ヨリ伐採スル椽ノ類及楠アリ

③形式

平地ノ高低ニ準テ建ツルガ故ニ樓殿多クハ前殿ヨリモ高シニ層層若クハ三層ヨリテ回廊ヲナラン。四ノ椽ヲ連シ椽ノ高サニ高低アル所少シク高屋ニ被風ヲ見ル其他普通ノ殿堂ニ同シ。

④デザイン

デザインハ甚ク粗放ニシテ一モ見ルハキルトシ。

⑤裝飾

一モ見ルハキナシ甚シキハ白木。荒仕上ケノモテ裝飾ト名ケルモノナシ瓦ノ棟飾ナク吻ナシ妻ニ垂飾ナシ窓牖ニ楯メチ平丸ナル組子アリヤシ上等ノモトニテ建具類ニ色彩セシモノ内部ニヤニ裝飾ヲ施セルモノ厨子ノ華麗ナルモノアレドモ價値甚少シ。

⑥佛像

必ズ觀音トシ普賢トフ置ク。釈迦或ハ摩訶或ハ文殊普賢トフ置ク。釈迦ハ或ハ單獨ニ或ハ之ヲ普賢ノ左右ニテ大雄殿ニ在ル普賢ハ或ハ單獨ニ或ハ觀音ノ如ク或ハ觀音トシ或ハ觀音トシ前殿ニ在ル財神ヲ崇メ又燈籠ヲ置ク又弥勒觀音菩薩天二十四天十八羅漢阿彌陀佛等或ハ置キ或ハ置カズ。



華嚴寺

大我寺神水關内列見五輪ノ變形ナルカ如



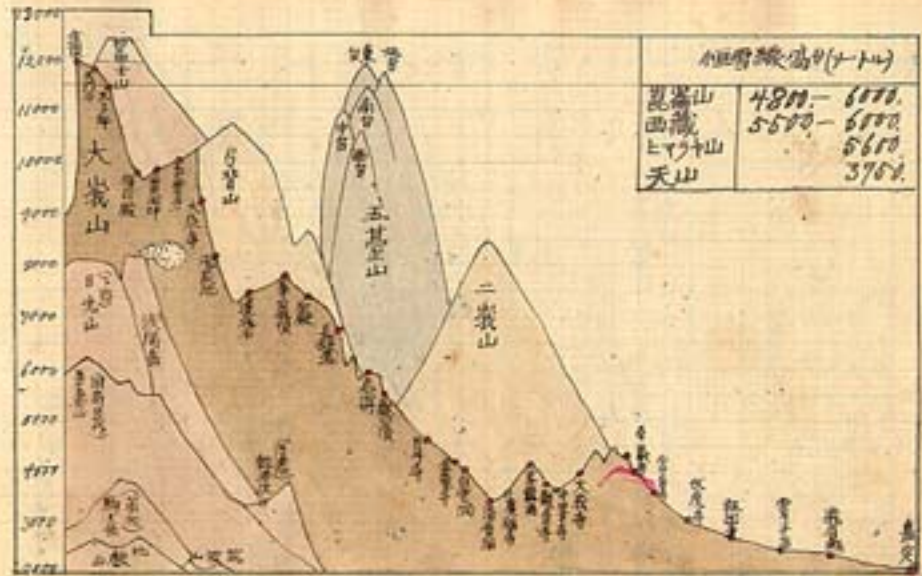
鐵上高約數日照教對票亦常有詩句替神立言
以卜休忌日歲分上中下三等又分上上中下中等



神藏(真大)



基標(洗象池) 五輪ト類似
ノ点アリ



金龍寺より金頂ヲ眺望の景



○聖積寺(大里)

寺内万佛塔ト名クル銅塔アリ、普通ノ宝塔形ノ丸輪具様ニ發達シテ層七級ヲナシ水煙ノ所ニ蓋アリ、蓋上又五重ノ層アリ、最上ニ三重ノ宝珠アリ

○峩眉山建築ノ概評

① プラン
アラハ不備ト云フノ外ニ、常ニ回形ヲナセル一副ノ外ニニニノ附屬舎アルノミ

② エレヴェーション
寺院ノ体裁ヲナサズ、殆ド民家ノ如ク殆ト批評ノ限リニアラス

③ デコレーション
適當ニデコレーションヲ以テ觀ルベキモノナレ亦々批評ノ限リニアラス

④ コンストラクション
尤モ簡單ナル尤モ普通ナル支那家屋構造ト云ハ

⑤ 歴史的價値

第二十二號



○ 巖眉登山之圖
 雲の上を抽て見れど久方の
 光も巖眉の峰まきまきし

コノ辺到ル處ニ塔アリ、叙州附近ニハ八皇ノ
 モノアリ構造形別ニ珍奇ナルモノナシ。

○支那人口考

支那ノ人口四億ト稱スルハ嫌フベシ西安府ノ人口
 五萬ニ過キザルニ五十萬ト稱シ成都ノ人口二十
 七萬ニ過キザルニ亦五十萬或ハ六十萬ト云ス
 其他トナシ此類ナリ余經過スル所ノ各縣ニ
 就テ考フニ一縣ノ人口多キモ四十萬ニ到ラズ少
 キハ十萬ニ充タザル所少ナカラズ其知縣ハ四
 川ノ縣ハ人口二十萬以上六十萬以下ナリト云
 レガコノ半合ト見テ大差ナカルベシ、即チ平均
 二十萬ヨリ二十五萬ト見テ可ナレト四川ノ州
 縣合セテ百三十トシ其人ロハ二千六百乃至
 三千二百五十萬トスルヲ可トス、故ニ四川ノ人口
 凡三千萬ト數フルヲ至當トス、最近ノ調査
 ニ四川ノ人口六千人百餘萬ト稱スモ亦ヨリ成
 都ノ人口五六十萬ト稱スルノ筆法ナリ。

○江安縣

城圍九里人口萬余(人家三千ト稱ス)

○内溪縣

城圍九里戸數二千(人口一萬以内)

○叙州府(宜賓縣)

城圍七里余人口四萬以上

○犍為縣

城圍三里余戸一千人口四千五百許

嘉定大江東崖大佛 下有險灘 古人修成的



豚檻と毛房(南溪)



第二十三號

合計	合江	漢陽	助溪	江安	南溪	叙州
六百十里	百十里	百十里	四十里	六十里	六十里	百十里
?	?	?	?	?	?	?



人匪治籠巾

羅人乞食苦力(南溪)



(三六) 納溪縣

城圍四里城內戶數七百人口三千

(三七) 瀘州

コノ辺楊子江流レ一秒時ニ凡二尺乃至二尺三寸

△白塔

△武侯祠(望山)

地圍七里人口凡四萬ト称ス三萬位ナルベシ

(三九) 合江

城圍三里城內千戸開外ヲ合セテ三千戸人口凡二萬以上ナルベシ

本

江安縣ノ南、照山ア人唐宋古碑古建築アリト称ス

(四十) 江津

城圍八里南北一里余

人口一萬五千斗(戸三四千ト称ス)

コノ辺天井ヨリ光線ヲ採テ法アリクニ元瓦ト云フ透明ナル瓦ヲ用ルトテ普通通ノ瓦ニ倍位ノ面積ナリ、六坪位ノ室ヲコトシ瓦ニ枚、光ニテ昭々暗クシトモ書クニ可ナリ、若シコノ瓦六枚、光アレバ大ニ便ナリ、凡ハ幅六寸長九寸位ナリ



泰山石敢當

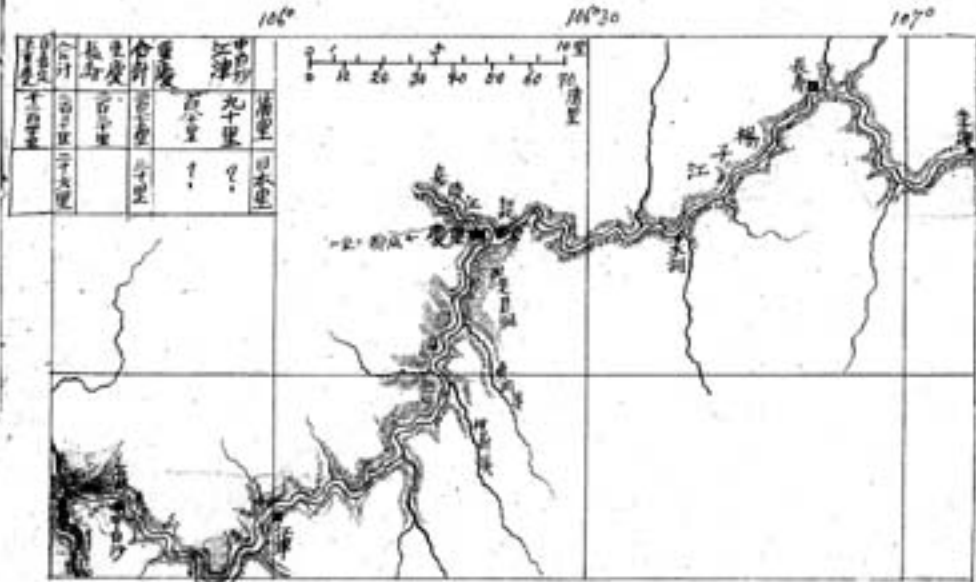
太山是東嶽大神宮也昔時鬼神太山
在山東就是泰山神在此地們那安
不敢來我就是太山上結石頭



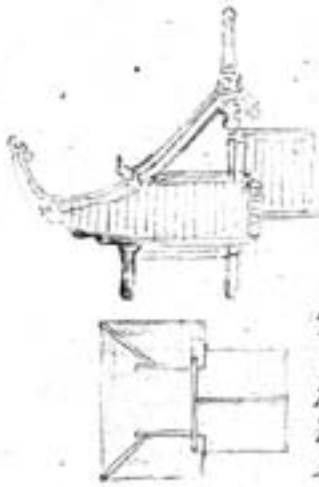
雷擊法符より人死して鬼となり、鬼より死して雷
とある人の鬼を恐れ鬼は雷を怖る故に之を書き
て鬼を辟くる也
又供養塔に「勅令」と云ふ字あり、此も符あり、
又墓地などは禁葬職と云ふ文字を刻せる碑
あり、これは水脈を裁つべからずと云ふ意あり、穴
を穿つに方位を考へ若し水脈即ち龍脈を絶つ
ときは水を得るべきを得ずと云ふ。
又風水塔や地相の上より来れるあり、詳ある
説を聞かず。

重慶府

この揚子江の流れ一秒時は四人乃至三人又河幅
百五十間に出入す
城の大小東西凡七里南北凡四里人口十万余り



○羅漢寺



片千島破風奇法アリ

○報恩寺
建築として別に見るべきあり

○江南會館

文星閣と称する五層の閣あり、八角にして全く塔の形あり、只た九輪の形塔と全し、外らぎ、宝頂より八條の鐘あり、風鐸あり、斯に於て閣と塔との區別殆ど無きは至せり、只其起源はありて推考するを得べし。

①樓の形の漸く高くありしものハ閣あり、この場合には多く木造にて母屋高相あり、軒の天枳多く、最上層は屋根大あり。

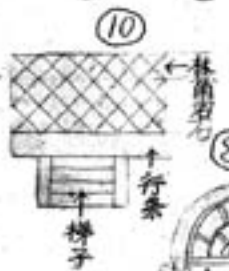
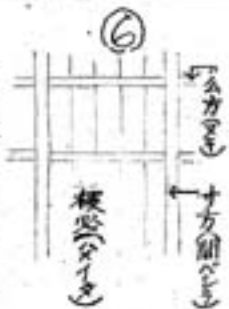
②スツルハの形の漸く變化せしものハ塔あり、多くは板造りにて母屋屋根少く、多くは高欄あり、上層に宝瓶あり。



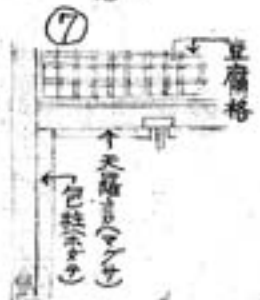
門有 (八雲カサモノ)



天花板 (デシヤウ)
 地樓板 (ユカイタ)
 窓子 (マド)
 林用石 (シハンシキイシ)
 元光 (セリヒキ)
 下水間 (墜橋)
 知麻柱 (カキヒシラ) 柱 (マルベシラ)
 奥壁 (水石)
 行条 (カワライシ) 様子 (タシイシ)
 一面半円 (マド)
 門牆子 (戸ノシキヤ)

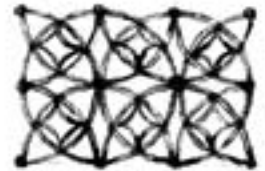
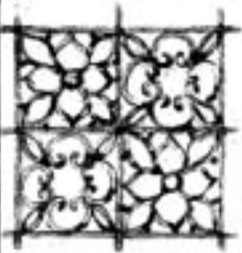


コノ門ハ三秋田ナリ、
 五ツミサケレト云フ、
 モノヲ五秋田ト云フ



国名	人口	面積	人口
ベルギー	5,418,460	31,176,350	188,4315
フランス	6,765,450	46,335,687	5,549,720
イギリス	25,664,800	31,887,812	1,364,548
ドイツ	5,367,000	38,517,975	5,124,230
オランダ	3,193,370	40,705,925	2,536,839
スイス	4,972,440	17,745,000	9,376,052
イタリア	7,134,000	4,915,687	5,181,500
スペイン	3,300,000	5,139,565	30,120,600
ポルトガル	2,575,000	2,175,830	2,053,280
ギリシャ	2,745,000	6,744,532	1,976,200
トルコ	3,845,000	2,310,000	2,101,650
インド	45,057,400	50,974,000	4,083,120
中国	32,542,000	2,122,400	3,029,620
日本	58,906,200	94,215,415	1,482,130
朝鮮	13,102,000	5,912,520	1,267,023
台湾	4,830,300	2,452,372	282,071
フィリピン	3,271,200	11,307,600	611,470
インドネシア	9,050,000	2,208,490	873,600
ジャバ	6,467,700	2,432,800	2,900
スマタラ	4,174,000	4,650,200	11,486
日本			144,012,100

存水初逢一見如蓮
 惜分首勿勿生人殊抱
 不安世中格外原襟
 寺心



終

申上ヶ道ヨマ又ガ-----
 モー---ツ何ヨマ又-----
 -----ト女トシ-----

庭指實在是不好跟您提起來的這----
 再請同您-----
 檢修-----

山 Pen-shan
 石門 Mei-chow
 青神 Chin-shan
 安定 Chia-tan
 峨眉 Ma-mai
 清音 Chiu-in-koo
 過家 Hih-shing-shi
 金頂 Shin-ting
 雙山 Shiu-shan
 靈山 Lo-shan
 宜賓 Shu-pin
 南溪 Nan-shih
 江安 Chian-ang
 納溪 Nah-shih
 瀘州 Lu-shou
 合江 Ho-chang
 江津 Chang-ting

靈通 Chen-ting
 長沙 Chang-shan
 衡州 Hui-shou
 衡陽 Hui-yang
 忠州 Chung-chow
 雲陽 Yun-yang
 奉節 Fung-kiat
 萬縣 Wan-shien
 夔州 Koi-chow
 巫山 Wu-shan



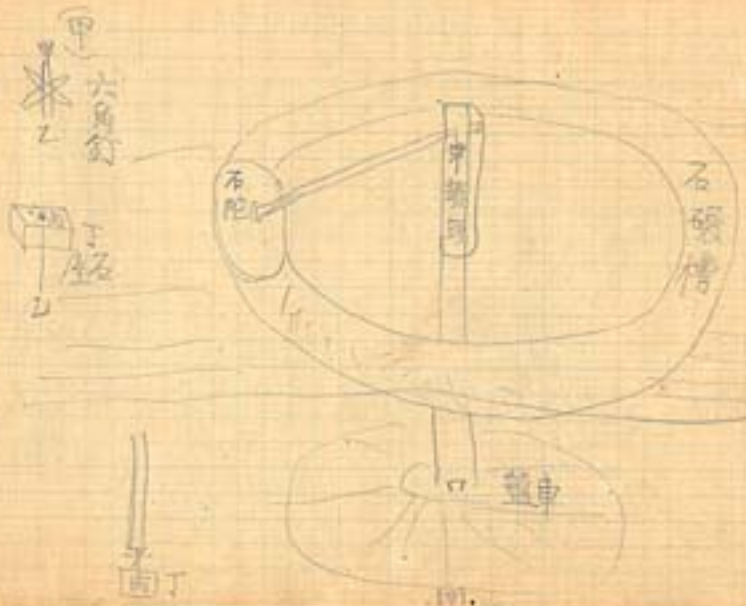
海龍騎女圖

北京 Pe-chang.	石嘴 Shih-Tsui.	延津 Yen-ching.	咸陽 Shien-yang.	神農 Shien-shian	直隸 Chi-Li
昌平 Chang-ping.	不遠樹 Pu-lao-shu.	開封 Kai-fong.	興平 Shing-ping.	朝天 Tsiao-ken	山東 Shan-Ton
南口 Nan-ka.	王快 Wan-kwai	中牟 chong-mu.	易縣 Ma-hsi.	咸寧 Shien-Nin	山西 Shan-shi
懷柔 Hwai-lai.	曲陽 Tsi-yan.	鄭州 chong-chou.	武安 Wu-an.	科考 Shien-Fu	陝西 Shien-shi
沙城 sha-cheng.	定州 Tin-chou.	張場 In-yan.	林州 Lin-chou.	廣元 Kwan-yuan	甘肅 Kan-su
宣化 Shuang-ha.	保定 Tao-tin.	沈水 shen-shui.	岷山 Min-shan.	昭化 Chiao-hwa	河南 Ho-nang.
張家口 Chang-chia-ka.	正定 chon-tin.	華 Hwa.	鳳翔 Feng-shiang.	大興樹 Ta-Hsu-shu	江蘇 Kiang-su
四家屯 Si-chia-tun	涿州 chon-chou.	德縣 Te-hsien.	定州 Ting-chou.	劍門 Chien-men-kwo	安徽 An-hwei
懷安 Hwai-ngang.	通州 Tung-chou.	洛陽 Lo-yang.	懷安 Hwai-ngang.	天壽關 Tien-shou-kwan	湖北 Ho-pei
子規峯 Tzu-ki-fung.	察哈 La-ha-chang.	鄭州 Shing-ngan.	子規峯 Tzu-ki-fung.	劍門 Chien-men	四川 Si-chuan
三聖廟 San-shih-tu-fu.	趙州 Chiao-chou.	滏陽 Fu-yang.	三聖廟 San-shih-tu-fu.	夔州 Kuo-chou	浙江 Tse-chiang
陽高 Yang-ka.	固城固 Kwei-cheng-tou.	峽石 Hsia-shih.	陽高 Yang-ka.	梓潼 Tzu-tung	江西 Kiang-shi
繁樂 Fan-lai.	栢野 Pai-chian.	陝州 shiang-chou.	繁樂 Fan-lai.	魏城 Wei-cheng	湖南 Ho-nang
天鎮 Tien-chung.	順德 Shun-to.	吳堡 Wu-pao.	天鎮 Tien-chung.	綿州 Mien-chou	貴州 Kwei-chow
大同 Ta-tung.	臨洺 Lin-ming-Niang.	周村 Chou-tsun.	大同 Ta-tung.	羅江 Lo-chiang	雲南 Yun-nan
南米庄 Nan-mi-chuang.	邯鄲 Kan-tang.	濟南 Tsin-kwan.	南米庄 Nan-mi-chuang.	黃河 Hwang-ho	貴州 Kwei-chow
鹿州 Lu-chou.	磁州 Tsi-chou.	張家口 Chang-ka.	鹿州 Lu-chou.	漢中 Han-chung.	雲南 Yun-nan
黎樹平 Li-shu-ping.	彰德 Chang-to.	滑南 Hwa-nan.	黎樹平 Li-shu-ping.	瀘州 Lu-chou	廣東 Kwau-ton
岩頭 Yang-tou.	滏陽 Fu-yang.	臨潼 Lin-tung.	岩頭 Yang-tou.	成都 Cheng-tou	福建 Fu-chien
繁峙 Fan-shi.	淇水 Ki-shui.	西安 Si-an.	繁峙 Fan-shi.	新蜀 Shin-shu	雲南 Yun-nan
五台山 Wu-tai-san	衛輝 Wei-hui.		五台山 Wu-tai-san	四川 Si-chuan	雲南 Yun-nan



菩薩坐像

支那の建築



支那の建築

清国
陝西・四川

第三卷

清國
自至西安・重慶
第三冊